

令和7年度第2回君津市介護保険運営協議会

日 時 令和7年12月25日(木)
19時00分～
会 場 君津市役所6階災害対策室

1 開 会

2 議 題

- (1) 第9期介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画の
令和6年度実績報告について
- (2) 第10期介護保険事業計画策定に係るアンケート調査について
- (3) 介護予防支援業務を委託する事業所について

3 閉 会

第9期介護保険事業計画 実績報告

第8期介護保険事業計画の令和4年度、令和5年度、第9期介護保険事業計画の令和6年度の見込値、実績値について以下のとおり、ご報告いたします。

補足 各項目の数値について

- ① 見込み及び計画値は、各年度末（3月末）の数値です。
- ② 令和4年度及び令和5年度の見込み及び計画値は、「第8期介護保険事業計画」に掲載したもの、令和6年度の見込み及び計画値は、「第9期介護保険事業計画」に掲載したものです。
- ③ 達成率は、見込み及び計画値に占める実績の割合です。
- ④ 差異は、見込み及び計画値と実績の差です。

※【】内のページ数は、第9期介護保険事業計画のページ番号に対応しています。

第3章 将来フレームと日常生活圏域の設定【33ページ】

1. 被保険者数及び認定者数の推計【33ページ】

要支援・要介護認定者数の推移

		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
第1号被保険者 認定者数(人)	見込み	4,690	4,855	4,716
	実績	4,425	4,601	4,832
	差異	265	254	-116
第2号被保険者 認定者数(人)	見込み	114	112	120
	実績	106	117	116
	差異	8	-5	4
合計(人)	見込み	4,804	4,967	4,836
	実績	4,531	4,718	4,948
	差異	273	249	-112
第1号 被保険者数(人)	見込み	26,670	26,787	26,788
	実績	26,528	26,597	26,506
	差異	142	190	282
出現率※	見込み	17.59%	18.12%	17.60%
	実績	16.68%	17.30%	18.23%
	差異	0.90%	0.83%	-0.62%

※ 第1号被保険者認定者数／第1号被保険者数

第4章 介護サービス提供体制の整備と人材確保

1. 介護サービスの整備促進

(1) 安心して生活し続けるための介護サービスの整備と質の確保【37ページ】

(ア) 居宅サービス【37ページ】

①訪問介護

1-1 介護サービス

		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
回数	計画値	197,160	204,864	147,252
	実績	172,768	162,880	166,600
	達成率	87.63%	79.51%	113.14%
	差異	24,392	41,984	-19,348
利用者数	計画値	7,932	8,244	6,804
	実績	7,288	7,016	6,835
	達成率	91.88%	85.10%	100.46%
	差異	644	1,228	-31

②訪問入浴介護

2-1 介護サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
回数	計画値	7,440	7,752	6,600
	実績	8,190	7,413	6,718
	達成率	110.08%	95.63%	101.79%
	差異	-750	339	-118
利用者数	計画値	1,452	1,512	1,320
	実績	1,618	1,465	1,315
	達成率	111.43%	96.89%	99.62%
	差異	-166	47	5

2-2 予防サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
回数	計画値	144	144	60
	実績	57	72	171
	達成率	39.58%	50.00%	285.00%
	差異	87	72	-111
利用者数	計画値	36	36	12
	実績	15	16	33
	達成率	41.67%	44.44%	275.00%
	差異	21	20	-21

③訪問看護

3-1 介護サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
回数	計画値	24,168	25,176	31,812
	実績	26,363	28,490	31,923
	達成率	109.08%	113.16%	100.35%
	差異	-2,195	-3,314	-111
利用者数	計画値	2,592	2,700	2,604
	実績	2,732	2,650	2,872
	達成率	105.40%	98.15%	110.29%
	差異	-140	50	-268

3-2 予防サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
回数	計画値	3,444	3,552	3,000
	実績	1,667	2,657	3,572
	達成率	48.40%	74.80%	119.07%
	差異	1,777	895	-572
利用者数	計画値	396	408	372
	実績	205	346	456
	達成率	51.77%	84.80%	122.58%
	差異	191	62	-84

④訪問リハビリテーション

4-1 介護サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
回数	計画値	2,220	2,220	3,696
	実績	1,914	2,428	2,260
	達成率	86.22%	109.37%	61.15%
	差異	306	-208	1,436
利用者数	計画値	192	192	216
	実績	165	190	212
	達成率	85.94%	98.96%	98.15%
	差異	27	2	4

4-2 予防サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
回数	計画値	228	228	228
	実績	0	294	206
	達成率	0.00%	128.95%	90.35%
	差異	228	-66	22
利用者数	計画値	24	24	12
	実績	0	23	21
	達成率	0.00%	95.83%	175.00%
	差異	24	1	-9

⑤居宅療養管理指導

5-1 介護サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	計画値	4,860	5,040	5,616
	実績	5,575	5,537	5,956
	達成率	114.71%	109.86%	106.05%
	差異	-715	-497	-340

5-2 予防サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	計画値	420	432	492
	実績	428	465	601
	達成率	101.90%	107.64%	122.15%
	差異	-8	-33	-109

⑥通所介護

6-1 介護サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
回数	計画値	123,096	127,968	113,736
	実績	115,362	117,647	115,660
	達成率	93.72%	91.93%	101.69%
	差異	7,734	10,321	-1,924
利用者数	計画値	11,976	12,444	11,628
	実績	10,923	11,326	11,364
	達成率	91.21%	91.02%	97.73%
	差異	1,053	1,118	264

⑦通所リハビリテーション

7-1 介護サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
回数	計画値	23,544	24,504	17,760
	実績	18,026	17,946	17,483
	達成率	76.56%	73.24%	98.44%
	差異	5,518	6,558	277
利用者数	計画値	2,988	3,108	2,244
	実績	2,411	2,303	2,252
	達成率	80.69%	74.10%	100.36%
	差異	577	805	-8

7-2 予防サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	計画値	1,236	1,272	1,032
	実績	903	1,002	1,124
	達成率	73.06%	78.77%	108.91%
	差異	333	270	-92

⑧短期入所生活介護

8-1 介護サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
日数	計画値	47,232	48,804	44,820
	実績	33,092	38,152	40,417
	達成率	70.06%	78.17%	90.18%
	差異	14,140	10,652	4,403
利用者数	計画値	3,132	3,240	2,520
	実績	2,214	2,383	2,615
	達成率	70.69%	73.55%	103.77%
	差異	918	857	-95

8-2 予防サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
日数	計画値	492	492	456
	実績	543	308	370
	達成率	110.37%	62.60%	81.14%
	差異	-51	184	86
利用者数	計画値	72	72	60
	実績	38	39	53
	達成率	52.78%	54.17%	88.33%
	差異	34	33	7

⑨短期入所療養介護（介護老人保健施設）

9-1 介護サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
日数	計画値	2,064	2,316	2,028
	実績	1,698	2,149	1,385
	達成率	82.27%	92.79%	68.29%
	差異	366	167	643
利用者数	計画値	288	324	252
	実績	168	215	161
	達成率	58.33%	66.36%	63.89%
	差異	120	109	91

9-2 予防サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
日数	計画値	0	0	0
	実績	10	6	30
	達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	差異	-10	-6	-30
利用者数	計画値	0	0	0
	実績	2	2	1
	達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	差異	-2	-2	-1

⑩短期入所療養介護（病院等）

10-1 介護サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
日数	計画値	708	708	36
	実績	177	78	5
	達成率	25.00%	11.02%	13.89%
	差異	531	630	31
利用者数	計画値	84	84	12
	実績	30	14	1
	達成率	35.71%	16.67%	8.33%
	差異	54	70	11

10-2 予防サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
日数	計画値	0	0	0
	実績	0	0	0
	達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	差異	0	0	0
利用者数	計画値	0	0	0
	実績	0	0	0
	達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	差異	0	0	0

⑪短期入所療養介護（介護医療院）

11-1 介護サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
日数	計画値	0	0	0
	実績	0	0	56
	達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	差異	0	0	-56
利用者数	計画値	0	0	0
	実績	0	0	7
	達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	差異	0	0	-7

11-2 予防サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
日数	計画値	0	0	0
	実績	0	0	0
	達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	差異	0	0	0
利用者数	計画値	0	0	0
	実績	0	0	0
	達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	差異	0	0	0

⑫福祉用具貸与

12-1 介護サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	計画値	14,964	15,540	15,180
	実績	15,161	15,089	15,352
	達成率	101.32%	97.10%	101.13%
	差異	-197	451	-172

12-2 予防サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	計画値	3,444	3,540	3,240
	実績	2,889	3,273	3,833
	達成率	83.89%	92.46%	118.30%
	差異	555	267	-593

⑬特定福祉用具販売

13-1 介護サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	計画値	288	288	204
	実績	257	238	312
	達成率	89.24%	82.64%	152.94%
	差異	31	50	-108

13-2 予防サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	計画値	96	96	96
	実績	61	80	101
	達成率	63.54%	83.33%	105.21%
	差異	35	16	-5

⑭住宅改修

14-1 介護サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	計画値	192	216	252
	実績	173	203	219
	達成率	90.10%	93.98%	86.90%
	差異	19	13	33

14-2 予防サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	計画値	108	108	84
	実績	93	108	92
	達成率	86.11%	100.00%	109.52%
	差異	15	0	-8

⑮特定施設入居者生活介護 ※地域密着型は(ウ)⑦

15-1 介護サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	計画値	1,764	1,812	1,392
	実績	1,411	1,340	1,396
	達成率	79.99%	73.95%	100.29%
	差異	353	472	-4

15-2 予防サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	計画値	324	336	216
	実績	216	165	183
	達成率	66.67%	49.11%	84.72%
	差異	108	171	33

(イ)施設サービスの充実【44ページ】

①介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) ※地域密着型は(ウ)⑧

1-1 介護サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	計画値	4,836	4,896	4,920
	実績	4,893	4,786	4,774
	達成率	101.18%	97.75%	97.03%
	差異	-57	110	146

②介護老人保健施設		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	計画値	3,192	3,252	2,580
	実績	2,748	2,650	2,384
	達成率	86.09%	81.49%	92.40%
	差異	444	602	196

③介護医療院		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	計画値	0	0	288
	実績	0	3	240
	達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	83.33%
	差異	0	-3	48

(ウ) 地域密着型サービスの充実【45ページ】

①定期巡回・随時対応型訪問介護看護

		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	計画値	816	936	804
	実績	674	731	804
	達成率	82.60%	78.10%	100.00%
	差異	142	205	0

②夜間対応型訪問介護

		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	計画値	72	84	36
	実績	54	51	41
	達成率	75.00%	60.71%	113.89%
	差異	18	33	-5

③地域密着型通所介護

		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
回数	計画値	22,740	23,868	21,348
	実績	21,194	21,236	19,038
	達成率	93.20%	88.97%	89.18%
	差異	1546	2632	2310
利用者数	計画値	2,172	2,280	2,208
	実績	1,912	2,012	1,844
	達成率	88.03%	88.25%	83.51%
	差異	260	268	364

④認知症対応型通所介護

4-1 介護サービス

		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
回数	計画値	3,756	3,864	3,864
	実績	3,395	3,553	3,011
	達成率	90.39%	91.95%	77.92%
	差異	361	311	853
利用者数	計画値	276	288	396
	実績	382	363	315
	達成率	138.41%	126.04%	79.55%
	差異	-106	-75	81

4-2 予防サービス

		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
回数	計画値	0	0	0
	実績	0	0	2
	達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	差異	0	0	-2
利用者数	計画値	0	0	0
	実績	0	0	1
	達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	差異	0	0	-1

⑤小規模多機能型居宅介護

5-1 介護サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	計画値	456	576	720
	実績	299	267	405
	達成率	65.57%	46.35%	56.25%
	差異	157	309	315

5-2 予防サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	計画値	36	60	48
	実績	34	26	43
	達成率	94.44%	43.33%	89.58%
	差異	2	34	5

⑥認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

6-1 介護サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	計画値	900	996	948
	実績	887	875	877
	達成率	98.56%	87.85%	92.51%
	差異	13	121	71

6-2 予防サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	計画値	0	0	12
	実績	0	0	0
	達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	0.00%
	差異	0	0	12

⑦地域密着型特定施設入居者生活介護

		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	計画値	0	0	0
	実績	0	0	0
	達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	差異	0	0	0

⑧地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	計画値	1,020	1,020	912
	実績	943	905	880
	達成率	92.45%	88.73%	96.49%
	差異	77	115	32

⑨看護小規模多機能型居宅介護（複合型）

		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	計画値	468	648	336
	実績	322	302	311
	達成率	68.80%	46.60%	92.56%
	差異	146	346	25

(エ) 居宅介護支援・介護予防支援【61ページ・63ページ】

12-1 介護サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	計画値	23,256	24,216	23,244
	実績	22,920	22,956	22,703
	達成率	98.56%	94.80%	97.67%
	差異	336	1,260	541

12-2 予防サービス		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	計画値	4,272	4,392	4,152
	実績	3,601	4,090	4,750
	達成率	84.29%	93.12%	114.40%
	差異	671	302	-598

(オ) 持続可能な介護基盤整備事業【49ページ】

【当初目標】在宅の要介護者等が、住み慣れた自宅で安心して生活を継続できるよう、24時間対応で支援する「定期巡回・随時対応型訪問介護看護（1事業所）」の新規整備を計画します。

また、在宅の要介護者の医療ニーズが高まっていることから、「退院直後の在宅生活へのスムーズな移行」、「がん末期等の看取り期、病状不安定期における在宅生活の継続」等、医療ニーズに対応できる「看護小規模多機能型居宅介護（1事業所）」の新規整備を計画します。

【評価】令和6年度に、定期巡回・随時対応型訪問介護看護について1事業者から応募がありましたが、書類審査において不合格となりました。看護小規模多機能型居宅介護については、応募がありませんでした。引き続き、地域密着型サービス事業の適正な整備・充実に向けて公募を実施します。

		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護事業所数	計画値	4	4	4
	実績	3	3	3
	達成率	75.00%	75.00%	75.00%
看護小規模多機能型居 宅介護事業所数	計画値	2	2	2
	実績	1	1	1
	達成率	50.00%	50.00%	50.00%

2. 介護人材の確保及び資質向上

(ア) 介護職員初任者研修費用助成事業【51ページ】

【当初目標】介護人材の参入を促進するため、介護職員初任者研修を受講し、市内介護サービス事業所、介護保険施設に就業した方に、研修費用の一部を助成します。

【評価】外国人就労者からの申請が増えています。引き続き、事業を実施していきます。

		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
助成者数（人）	計画値	10	10	15
	実績	18	21	14
	達成率	180.00%	210.00%	93.33%

(イ) 介護に関する入門的研修の実施【51ページ】

【当初目標】介護の業務に関心を持ちながらも介護未経験の方に、介護を知る機会を提供するとともに、業務に携わる上での不安を払拭し、参入を促進するため、介護に関する基本的な知識や、業務に携わる上で知っておくべき基本的な技術を学ぶことができる研修を実施します。

【評価】令和6年度より研修の中で、市内介護事業者から介護事業所での仕事内容等を受講者へ説明する時間を設ける等、受講者と事業者との交流の場としています。

		第8期計画		第9期計画
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
参加者数（人）	計画値	20	20	20
	実績	17	15	18
	達成率	85.00%	75.00%	90.00%

第5章 介護保険制度への円滑な運営【54ページ】

1. 介護給付等の適正化への取り組み及び目標設定（介護給付適正化計画）

介護給付の適正化とは、介護給付を必要とする利用者を適切に認定し、利用者が真に必要なサービスが提供されることを確認すること、また、適切なサービスの確保とその結果としての費用の効率化を通じて介護保険制度への信頼を高め、持続可能な介護保険制度の構築に資することを目的に取り組むものです。

（2）ケアプランの点検【54ページ】

【当初目標】利用者の状況に適合していないサービス提供の改善のため、居宅サービス計画書の記載内容について、点検及び支援を行い、ケアマネジメント等の質の向上に取り組めます。

また、サービス利用者の状況にそぐわない不適切または不要な住宅改修の排除のため、改修内容等の事前審査や事後申請による提出書類の点検を実施します。

※「介護給付費の請求過誤申立件数」の増加については、新たに「認定調査状況と利用サービスの整合性の点検」を重点的に行ったことにより、多くの請求誤りが判明したことが主な要因です。

	第8期計画		第9期計画
	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
ケアプランの点検件数（件）	23	28	25
住宅改修点検（%）	100	100	100
軽度者福祉用具点検（件）	17	25	19
介護給付費の請求過誤申立件数（件）	61	57	149

（3）縦覧点検・医療情報との突合【55ページ】

【当初目標】介護報酬の請求内容の誤り等を早期に発見し適切な処置を行うため、利用者ごとに介護報酬の支払状況を確認し、提供されたサービスの整合性、算定回数、算定日数等の点検を行います。

また、医療と介護の報酬の重複請求の排除等を図るため、利用者の入院情報と介護保険の給付情報を突合し、給付日数や提供されたサービスの整合性の点検を行います。

※「医療情報との突合件数」が大幅減少しているのは、国民健康保険団体連合会から提供される突合リストの抽出条件が変更となり、チェックの対象件数が減少したためです。（誤りの可能性が低いデータについては、抽出されなくなりました。）

	第8期計画		第9期計画
	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
縦覧点検件数（件）	3,418	3,469	5,855
医療情報との突合件数（件）	1,172	1,254	92

（4）介護給付費通知（任意事業）【55ページ】

【当初目標】適切なサービス利用と提供の普及啓発を図るため、本人（家族を含む）に対し、事業者からの介護報酬の請求及び費用の給付状況等について通知します。

	第8期計画		第9期計画
	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
介護給付費通知件数（件）	3,375	3,421	3,500

議題 1 (参考資料) 用語解説

議題1

ページ数	用語名	解説
1	訪問介護	介護福祉士やホームヘルパーなどが家庭を訪問して、要介護認定者に、入浴・排せつ・食事等の身体介護や、調理・掃除・洗濯等の日常生活上の援助を行います。
2	訪問入浴介護	看護師や介護士などが移動入浴車等で各家庭を訪問し、浴槽を家庭に持ち込んで入浴の介護を行い、要介護・要支援認定者の身体の清潔の保持、心身機能の維持等を図ります。
2	訪問看護	訪問看護ステーションや病院、診療所の看護師などが家庭を訪問して、疾患等により療養が必要な方に対して、療養上の世話や必要な診療の補助を行います。サービスの提供にあたっては主治医との密接な連携に基づき、利用者の療養生活を支援し、心身機能の維持回復を図ります。
3	訪問リハビリテーション	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等が、医師との連携のもと家庭を訪問して、要介護・要支援認定者の心身機能の維持回復を図るとともに、日常生活の自立を助けるための理学療法、作業療法その他必要なリハビリテーションを行います。
3	居宅療養管理指導	通院が困難で在宅療養している要介護・要支援認定者について、医師、歯科医師、薬剤師、歯科衛生士、管理栄養士などが家庭を訪問し、心身の状況、置かれている環境等を把握して療養上の管理や指導を行います。
3	通所介護	デイサービスセンターへの通所により、入浴・排せつ・食事等の介護その他の日常生活上の世話や機能訓練を行います。
4	通所リハビリテーション	介護老人保健施設や病院等への通所により、心身機能の維持回復と日常生活の自立を図るため、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等によるリハビリテーションを行い、心身機能の維持回復を図ります。
4	短期入所生活介護	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などに要介護・要支援認定者が短期間入所し、当該施設において、入浴・排せつ・食事等の介護その他の日常生活上の世話を受けるサービスです。
5	短期入所療養介護	介護老人保健施設などに要介護・要支援認定者が短期間入所し、当該施設において、看護・医学的管理下における介護、機能訓練、その他必要な医療及び日常生活上の世話を受けるサービスです。

6	福祉用具貸与	福祉用具専門相談員が、要介護・要支援認定者の心身の状況、生活の環境等を踏まえて、適切な福祉用具を選ぶための援助等を行いつつ、日常生活の便宜を図るための福祉用具や機能訓練のための福祉用具を貸与します。
6	特定福祉用具販売	要介護・要支援認定者の日常生活の便宜を図るため、入浴や排せつ等に用いる貸与になじまない福祉用具を、介護保険を利用して購入できます。
7	住宅改修	在宅の要介護・要支援認定者が、手すりの取り付けや段差解消等の生活環境を整えるための住宅改修を行ったときに、20万円を上限に、費用の一部が支給される制度です。
7	特定施設入居者生活介護	介護保険法に基づく指定を受けた有料老人ホーム等に入居している要介護・要支援認定者について、特定施設サービス計画（ケアプラン）に基づき入浴・排せつ・食事等の介護その他の日常生活上の世話、機能訓練及び療養上の世話を行います。
7	介護老人福祉施設	常時介護が必要で、家庭での生活が困難な場合に入所する施設（特別養護老人ホーム）で、要介護認定者に、入浴・排せつ・食事等の介護その他の日常生活上の世話や機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行います。
7	介護老人保健施設	病状が安定し、リハビリテーションを中心とする医療ケアと介護を必要とする場合に入所する施設で、要介護認定者に、看護、医学的管理下での介護、機能訓練その他必要な医療及び日常生活上の世話を行います。
7	介護医療院	慢性期の医療・介護ニーズへの対応のため、「日常的な医学管理が必要な重介護者の受入れ」や「看取り・ターミナル」等の機能と、「生活施設」としての機能を兼ね備えた施設サービスです。
8	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護が一体的に又はそれぞれが密接に連携しながら、利用者のニーズに応じた定期巡回訪問と、利用者から事業所に対して通信機器等を介した通報があった際に、必要に応じて随時のサービス提供を行い、要介護認定者の在宅生活を支えます。
8	夜間対応型訪問介護	夜間の定期的な巡回による訪問介護サービスと、利用者から事業所に対して通信機器等を介した通報があった際の随時の訪問介護サービスを組み合わせて利用するサービスです。排せつの介助や日常生活上の緊急時の対応を行います。

8	地域密着型通所介護	比較的小規模なデイサービスセンター（定員18人以下）への通所により、入浴・排せつ・食事等の介護その他の日常生活上の世話や機能訓練を行います。
8	認知症対応型通所介護	認知症のある要介護・要支援認定者に対し、認知症状の緩和に資するように目標を設定し、必要な日常生活上の世話や機能訓練を行い、心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るサービスです。
9	小規模多機能型居宅介護	事業所への「通い」を中心に、要介護・要支援認定者の状況や希望に応じて、随時、「訪問」や「泊まり」を組み合わせて介護サービスを提供します。
9	認知症対応型共同生活介護	認知症の要介護・要支援認定者に対し、共同で生活する住居において、入浴・排せつ・食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行うサービスです。
9	地域密着型特定施設入居者生活介護	有料老人ホーム等の特定施設のうち、定員が30人未満の小規模な介護専用型特定施設に入居する人が、日常生活の世話や機能訓練等の介護サービスを受けます。
9	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	定員が29人以下の小規模な介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）で、常時介護が必要で、家庭での生活が困難な要介護認定者に対して、入浴・排せつ・食事等の介護その他の日常生活上の世話や機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行います。
9	看護小規模多機能型居宅介護	医療ニーズの高い要介護認定者への支援を行うため、「訪問」「通い」「泊まり」のサービスに加え、必要に応じて訪問看護を提供するサービスです。
10	居宅介護支援・介護予防支援	要介護・要支援認定者が適切に居宅サービス等を利用できるよう、居宅介護支援は介護支援専門員（ケアマネジャー）が、介護予防支援は指定介護予防支援事業所の専門職が、認定者の心身の状況や置かれている環境、意向等を勘案して、居宅サービス計画（ケアプラン）の作成や当該計画に基づくサービスの提供が確保されるための事業者との連絡調整、認定者が介護保険施設に入所を希望する場合における施設への紹介、その他のサービスの提供を行います。

高齢者保健福祉計画 事業評価シート

議題1 ②

評価について

A：計画どおり事業を実施できた B：ほぼ計画どおり事業を実施できたが、課題を残している
 C：現状を下回る、見直しが必要 D：事業を実施できなかった、大幅な見直しが必要
 N：事業廃止、新規事業、新規事業に等しい見直しを行ったもの

具体事業一覧

No.	計画記載ページ	基本目標	施策の推進方向	事業の展開	主な取組・事業	事業及び取組の実施状況（令和6年度）	評価	事業及び取組の課題（令和7年度）	主担当課
1	67	いきいきと健康に暮らせるまち	(1) 生きがいづくりと元氣な暮らしの支援	①高齢者の就労、社会参加の促進	●シニアクラブや君津市シルバー人材センターへの助成	君津市シルバー人材センターへの補助金交付 運営補助金 7,780,000円 君津市シニアクラブ連合会及び各シニアクラブへの補助金交付 シニアクラブ連合会 224,450円 健康づくり・介護予防支援 210,000円 各シニアクラブ補助金 2,024,500円	B	君津市シルバー人材センターの会員数、シニアクラブのクラブ数及び人数は減少し続けている。団塊の世代が75歳以上となり、経済・社会情勢の変化もあり、シルバーで働く人やシニアクラブで65歳から活躍する人が減少している点が指摘されている。令和7年度は新規パンフレットの作成やイベントへの参加等により、広報周知の強化を図る。	高齢者支援課
2	68	いきいきと健康に暮らせるまち	(2) 高齢者のフレイル予防・介護予防の推進	①介護予防の推進	●介護予防把握事業	対象者（要介護・要支援認定を受けていない77歳を迎えた独居の者、及び77歳を迎えた者で配偶者も77歳以上の者）を、看護師や社会福祉士が訪問することで、閉じこもり等の何らかの支援を必要とする人を把握し、きみつ健康体操等の介護予防活動への参加につなげた。対象者数375名、訪問件数は372件、指導者数は320名。	A	対象者（要介護・要支援認定を受けていない77歳を迎えた独居の者、及び77歳を迎えた者で配偶者も77歳以上の者）を、看護師や社会福祉士が訪問し、生活機能低下の恐れがある高齢者を早期に見つけ、要介護状態になることを防ぐ。	高齢者支援課
3	68	いきいきと健康に暮らせるまち	(2) 高齢者のフレイル予防・介護予防の推進	①介護予防の推進	●介護予防普及啓発事業	介護予防把握事業の対象者に対し、パンフレット等を用いて介護予防についての普及啓発を実施した。	A	介護予防把握事業の対象者に対し、パンフレット等を用いて介護予防についての普及啓発を実施する。	高齢者支援課
4	68	いきいきと健康に暮らせるまち	(2) 高齢者のフレイル予防・介護予防の推進	①介護予防の推進	●地域リハビリテーション活動支援事業	公民館に事業実施の協力を依頼し、講座の実施方法等について検討したが、調整が整わず講座の開催につながらなかった。	D	公民館に事業実施の協力を依頼するとともに、別事業と組み合わせるなど、実施しやすい方法での実施を検討していく。	高齢者支援課
5	68	いきいきと健康に暮らせるまち	(2) 高齢者のフレイル予防・介護予防の推進	②フレイル予防の推進	●屋外運動習慣化事業	内みのわ運動公園、ふれあい広場の2会場で実施。 ・内みのわ運動公園 38回 延710人 ・ふれあい広場 37回 延946人 延1,656人	A	地域指導員の高齢化が進行しているため、地域指導員の計画的な人員確保が必要。新規地域指導員養成講座を8回実施する。	高齢者支援課
6	68	いきいきと健康に暮らせるまち	(2) 高齢者のフレイル予防・介護予防の推進	②フレイル予防の推進	●介護予防・地域支え合い事業	・生きがい支援センター等で実施している増進事業の実施。 353回 延4,925人 ・介護予防教室の実施。 3回 延79人	A	・増進事業は、参加者だけで体操を行えるよう事業の見直しを図る。 ・介護予防教室は、市民のフレイル予防のために、令和6年度同様年3回実施する。	高齢者支援課
7	68	いきいきと健康に暮らせるまち	(2) 高齢者のフレイル予防・介護予防の推進	②フレイル予防の推進	●一般介護予防事業	各自治会館等で実施しているきみつ健康体操の継続支援として、運動指導講師派遣を年2回、体力測定を年1回実施した。また、教室代表者を集め、日ごろの活動内容や課題を話し合い、それぞれの教室のユニークな体操や参加者の増やし方などを紹介してもらい、良い取り組みについては、自分たちの教室に取り入れてもらえるようにした。	B	引き続き、教室の継続支援として運動講師派遣と体力測定を実施する。また、きみつ健康体操新規開講の支援内容を見直し、経費の縮減を図る。	高齢者支援課
8	68	いきいきと健康に暮らせるまち	(2) 高齢者のフレイル予防・介護予防の推進	②フレイル予防の推進	●保健事業・介護予防一体的実施事業	小系・上総地区にて、ポピュレーションアプローチとして、きみつ健康体操教室や公民館等にて、フレイル予防出前講座を実施。ハイリスクアプローチとして、健診後の生活習慣病重症化予防の保健指導を家庭訪問等にて実施。	A	【拡大】R7年度から小系・上総に清和・小櫃を加えた4圏域にて、フレイル予防出前講座・健診事後の生活習慣病重症化予防の保健指導を実施 【新規】健診、医療、介護未利用者の健康状態把握事業を開始 【新規】高齢者の低栄養予防調理実習を開始 【課題】未実施の君津地区の実施に向けた人材確保	高齢者支援課
9	69	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(1) 住まいの環境整備	①高齢者が安心して暮らせる多様な住まいの確保	●君津市住宅セーフティネット事業庁内検討委員会	改正住宅セーフティネット法施行に際しての国、県の説明会等について住宅部局と福祉部局で視察するなど、情報と認識の共有を図った。	N	改正住宅セーフティネット法が施行され、居住支援の充実が求められており、庁内のみならず、民間事業者等も含めた連携体制が必要であるため、体制構築に向けた検討を行う。	建築課 厚生課 高齢者支援課 障がい福祉課 こども政策課
10	69	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(1) 住まいの環境整備	①高齢者が安心して暮らせる多様な住まいの確保	●老人ホーム入所措置事業	令和6年度は、懸案となっていた案件が進行したほか、緊急の対応が発生したことにより、措置者数が増加した 【措置実績】 令和5年度 10人 18,669,221円 令和6年度 14人 26,791,406円 (人＝各年度末時点の措置人数)	A	65歳以上で、環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な者を対象に、養護老人ホームへの入所措置を実施。今後は更なる増加が予想されるが、必要な時に必要な方々に措置を実施できる体制維持が課題。	高齢者支援課
11	69	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(1) 住まいの環境整備	①高齢者が安心して暮らせる多様な住まいの確保	●困介護・要支援者に対する住宅改修費の支給	手すりの取り付けや段差の解消等、要介護・要支援者が住み慣れた場所で安心して生活するためのバリアフリー化に対し、改修費用の支給を行った。令和6年度支給件数311件	A	必要としている人の状態に見合った適切な住宅改修となるよう、引き続き、改修内容等の事前審査や事後申請による提出書類の点検を徹底していく。	介護保険課
12	69	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(1) 住まいの環境整備	①高齢者が安心して暮らせる多様な住まいの確保	●図様な住まいの確保（住宅型有料老人ホーム、軽費老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など）	サ高住については、国庫の補助金を受給する際に地元自治体からの意見聴取が要件となっている。1件の申請があり、回答書を提出した。	A	引き続き、適正な意見聴取に努めていく。	介護保険課 建築課
13	70	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(2) 高齢者を地域で支える体制づくりの推進	①生活支援体制整備事業	●地域資源の発掘・収集と地域包括支援センターとの連携	地域資源の発掘・収集を行い、その情報を地域包括支援センターへ提供するとともに、地域ケア会議に参加して介護保険外サービスの情報を提供するなど、主に要支援者に必要な自立に資するサービスの情報の提供等を実施した。 第一層生活支援コーディネーター 3名 第二層生活支援コーディネーター 8名	B	市内10地区での第二層生活支援コーディネーターの配置を目標としているが、現在は8地区の配置となっているため、第一層生活支援コーディネーターと連携して空席となっている2地区についても配置を目指す。	高齢者支援課
14	70	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(2) 高齢者を地域で支える体制づくりの推進	②介護予防・生活支援サービス事業	●住民主体型サービス	介護予防・日常生活支援総合事業のサービスとして、NPOやボランティア等の住民が主体となって活動する「住民主体型サービス」を支援、地域包括支援センターを窓口として活動の普及に努めた。令和6年度 通所型 5件	B	活動団体を増やすことで、地域で高齢者を支える体制づくりを推進する。 令和7年度 通所型 7件 住民主体型サービスの担い手の確保、訪問型サービスの創設が課題である。	高齢者支援課
15	71	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(2) 高齢者を地域で支える体制づくりの推進	③災害に備えた情報伝達体制・避難支援体制の整備	●災害に備えた情報伝達体制・避難支援体制の整備	民生委員・児童委員協議会定例会、各地区の防災講座や勉強会、君津市介護支援専門員協議会等で制度の周知や、対象者への周知依頼を行った。また、ハザードマップで洪水・津波が想定される地区の計画作成を行った。	B	現在、自治会、民生委員が対象者の自宅を訪問し、個別避難計画の作成をすることとしているが、負担が大きく、地域ごとに計画作成の進捗に差がある。現在の計画作成の流れを見直し、対象者本人や家族で作成できない対象者のみ、自治会、民生委員に作成を依頼する等、自治会、民生委員等の負担を減らしつつ、計画作成率を上げていく必要がある。	厚生課
16	71	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(2) 高齢者を地域で支える体制づくりの推進	④重層的な支援体制の構築	●重層的な支援体制の構築	定期的に重層的支援会議を開催し、関係課や関係機関の課題や福祉相談支援センターきみつでの相談ケースを共有し、複合化・複雑化した相談を適切な支援に結びつける体制を整備した。また、地域共生シンポジウムを開催し、市民に対し、市内の相談機関の周知を図った。	A	重層的支援会議の開催、庁内外での連携した相談支援体制により、重層的な支援体制を整備することはできているが、今後はアウトリーチ等の活用により、支援につながっていない人を、適切な支援につなげる体制の強化を図りたい。	厚生課
17	72	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(3) 外出環境等の向上	①外出しやすい環境づくり	●高齢者を対象とした移動支援事業の実施	在宅でひとり暮らしの高齢者に対して交通利用券を交付し、日常生活に必要な外出や社会参加を支援する「ひとり暮らし高齢者タクシー等利用券交付事業」を実施。 利用者数□ 執行額□ 令和5年度 190人 2,948,570円 令和6年度 270人 3,404,940円□	A	令和5年度まではタクシー利用のみを対象としていたが、令和6年度から事業を更新し、路線バス・コミュニティバス・デマンドタクシーも利用可能とするなど、利便性を高めた。	高齢者支援課

No.	計画記載ページ	基本目標	施策の推進方向	事業の展開	主な取組・事業	事業及び取組の実施状況（令和6年度）	評価	事業及び取組の課題（令和7年度）	主担当課
18	73	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(4) 高齢者の権利擁護	① 成年後見制度利用促進支援	● 君津市成年後見制度利用促進計画に基づく取組	「君津市成年後見制度利用促進計画」の推進 【成果】 成年後見制度報酬助成要綱の見直し、君津市社会福祉協議会と協議、先進市（袖ヶ浦市）の取り組みの視察等を実施	C	君津圏域は成年後見制度の主な担い手（弁護士・司法書士・社会福祉士）が少なく、特に社会福祉士が不足しており、市民が必要な時に制度を利用できない可能性が将来的にある。そのため、成年後見制度利用促進計画を推進する必要があるが、予算確保や調整が難航している。	高齢者支援課
19	73	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(4) 高齢者の権利擁護	① 成年後見制度利用促進支援	● 市長申立て、成年後見人等報酬助成の実施	① 身寄りがないなど、成年後見人の申立てができない方に代わり、市長が申立てを行う「市長申立て」の実施 ・令和6年度市長申立て：4件(令和5年度：2件) ② 成年後見人への報酬支払いが困難な方に、市が報酬を助成する「報酬助成制度」の実施 ・令和6年度報酬助成：10件(令和5年度：4件)	A	ひとり暮らし高齢者の増加や核家族化などにより、成年後見制度の申立人がいない高齢者が増加している。また、成年後見人は報酬が発生するが、支払いが困難な高齢者も制度を利用できるよう、市が報酬助成を実施する。	高齢者支援課
20	73	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(4) 高齢者の権利擁護	② 高齢者虐待の防止	● 高齢者虐待の早期発見・対応の取組、連携体制の整備	令和6年度虐待対応件数：20件 高齢者虐待対応 ・高齢者支援課（高齢者支援係） ・地域包括支援室（直営・委託包括含む） 重層対応 ・福祉相談支援センターきみつ ・庁内関係課（障がい福祉課・厚生課等） ・警察、介護事業関係者 など	B	高齢者虐待の場合、8050問題のような複数の問題を同時に抱えている案件が増加している。重層的な連携と支援はますます重要となっている。関係所課、機関との連携を密にして対応していく。	高齢者支援課
21	73	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(4) 高齢者の権利擁護	③ 消費者被害対策の推進	● 関係機関との連携による消費者被害に関する周知啓発	① 成年後見制度利用支援事業の市長申立てにより、身寄りのない高齢者の権利擁護に努めた。 ・市長申立て4件	A	認知症の進行により判断能力が低下している高齢者に対して、高額なりフォームや商品の押し売りなどの被害が発生している。認知症の高齢者に対して、市が市長申立てを行い、家庭裁判所が後見人を選任することで財産管理を行い、被害の拡大を防ぐことができた事例もある。今後も相談内容に応じて申立てや関連機関へのつなぎなどを適切に行う。	高齢者支援課
22	74	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(5) 生活支援サービスの充実	① 生活支援サービスの充実	● 在宅の高齢者やその介護者を支援する給付事業の推進	① ねたきり老人等紙おむつ給付事業 ・延べ支給者：29人、決算額 839,766円 ・市民税の所得割が非課税の世帯に属するねたきり状態で常時失禁している65歳以上の高齢者に対し、1月あたり30枚を限度として紙おむつを給付する。 ② ねたきり老人福祉手当支給事業 ・延べ支給者：44人、決算額 3,721,830円 ・在宅で6か月以上ねたきり状態にあり日常生活のほとんどに介護を必要とする65歳以上の者の同居の家族で、その者の介護にあたっての者に対し、月額8,650円を支給する。 ③ 重度認知症老人介護手当支給事業 ・延べ支給者：17人、決算額 1,450,550円 ・在宅で6か月以上重度認知症がある65歳以上の方を介護している、同居の親族等に月額8,650円を支給する。認知の判断は医師の診断書により行う。	N	②及び③の事業は、在宅介護の支援を目的として、昭和60年度から実施している。平成12年に介護保険制度が導入され、制度開始から20年以上が経過した現在、市内では高齢者を介護する環境が大きく変化し、介護サービスも充実してきたなどの状況を踏まえ、②及び③の手当の支給を取りやめることとした。 廃止予定：令和8年3月31日 なお、給付要件に合致する方については、新たに紙おむつ給付事業の利用を案内している。	高齢者支援課
23	74	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(5) 生活支援サービスの充実	① 生活支援サービスの充実	● ひとり暮らしの高齢者の安全と安心を守る事業の実施	ひとり暮らし老人等緊急通報システム設置事業 ・ひとり暮らしの65歳以上の在宅の者又は75歳以上の者のみで構成される老老世帯の高齢者に対し、緊急通報装置を設置する。所得により自己負担あり。 ・令和6年11月1日新規契約。事業者はALSOK ・令和6年度 新規設置者 46名 年度未設置台数 334台 決算額 9,407,595円 ・有線（電話回線）を所有する方以外は使用できなかったため、無線（SIMカード内蔵）の機器を導入。電話回線を持たない方も利用できるよう改善した。	A	本事業は順調に利用者数を増やしており、在宅高齢者の緊急時に対する対応実績も重ねている。なお、市は契約先のALSOKと5年間の長期継続契約を行っているが、今回の新規契約時に1,815円/月から3,190円/月へ値上がりした。人件費や半導体等の上昇に伴うものだが、市の財政負担も増加している。	高齢者支援課
24	74	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(5) 生活支援サービスの充実	② 高齢者を見守る取組の推進	● 高齢者を見守る取組の推進	① ひとり暮らし老人等緊急通報システム設置事業（再掲No23） ② 高齢者見守りネットワーク事業 ・市内外の民間事業者と覚書を交わし、地域の高齢者に対し、対象者を限定せず、監視的ではない「さりげない見守り」を行い、何らかの異常を発見した場合に、君津市高齢者支援課へ連絡をいただく。 ・締結事業者数：13事業者（保険会社、郵便局、食品配達会社など） ・令和6年度：1事業者追加	A	①（再掲No23） ②本事業による異変等発見の実績は僅かであるが、災害時において覚書を締結している事業者が高齢者の安否確認に協力していただいた実績もある。協力いただける事業者の拡大に取り組みたい。	高齢者支援課
25	75	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(5) 生活支援サービスの充実	③ 家族介護に対する支援の充実	● 家族介護支援事業	公民館に事業実施の協力を依頼し、講座の実施方法等について検討したが調整が整わず、講座の開催につながらなかった。	D	公民館に事業実施の協力を依頼するとともに、別事業と組み合わせるなど、実施しやすい方法での実施を検討していく。	高齢者支援課
26	75	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(5) 生活支援サービスの充実	④ ヤングケアラーを含む家族介護支援の対策	● ヤングケアラーを含む家族介護支援の対策	こども家庭センターでは、家庭相談員等の専門職が学校や高齢者支援課等と連携し、ヤングケアラーが疑われる家庭の状況把握に努めている。その過程で支援が必要と判断されたケースについては、要保護児童対策地域協議会（実務者会議・個別支援会議）や庁内関係部署と協議し、支援方針を共有したうえで、地域資源や福祉サービスにつなげるなど、適切な支援を実施した。これらの取り組みにより、早期把握と関係機関との連携体制の強化が進んだものと考えている。	B	家庭内で支援が必要であることが見えにくいケースが多く、潜在的なヤングケアラーの把握が課題である。そのため、民生委員・児童委員など地域の支援者との連携強化が必要である。また、関係機関との情報共有や理解促進を進め、早期発見と支援につながる体制づくりをさらに推進していく。	子ども政策課
27	76	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(6) 認知症施策の総合的な推進	① 認知症予防に向けた取組の推進	● 認知症予防に向けた取組の推進	運動不足の改善や社会的孤立の解消として、きみつ健康体操等の体操教室を実施。また、保健事業・介護予防一体的実施関係事業の取組として、保健師や管理栄養士が認知症予防の健康講座を集いの場において実施した。また、二次予防（認知症の早期発見・早期対応）のための支援を実施した。	A	きみつ健康体操等の体操教室を実施し、参加してもらうことで、社会的孤立の解消や運動不足の改善を図る。また、保健事業・介護予防一体的実施関係事業の取組として、保健師や管理栄養士が認知症予防の健康講座を集いの場において実施していく。	高齢者支援課
28	77	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(6) 認知症施策の総合的な推進	② 認知症の早期診断、早期対応の支援体制	● 認知症簡易チェックサイト（認知症スクリーニングシステム）の活用推進	認知症簡易チェックサイト（認知症スクリーニングシステム）の活用推進のため、ホームページや広報きみつで周知を行った。 実績（アクセス数） 家族・介護者向け：2,869件 本人向け：2,572件	A	アクセス数は増加している。今後も、ホームページや広報きみつで周知を行い、活用促進を図る。	高齢者支援課
29	77	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(6) 認知症施策の総合的な推進	② 認知症の早期診断、早期対応の支援体制	● 認知症初期集中支援チームの運営	複数の専門職から構成された認知症初期集中支援チームにおいて、医療や介護につながらない認知症の方やその家族に対し、初期支援を行い、適切な医療や介護サービスにつなげるよう取り組んだ。 チーム医1名、チーム員5名（保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士） 会議 7回（ケース2件）	B	認知症の相談は増えているが、認知症初期集中支援推進事業に該当する対象者が少ない傾向にある。今後も、対象者について認知症初期集中支援チームにおいて初期支援を行い、適切な医療や介護サービスにつなげるよう取り組む。	高齢者支援課
30	77	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(6) 認知症施策の総合的な推進	② 認知症の早期診断、早期対応の支援体制	● 認知症ケアパスの普及	認知症の進行段階を図に表し、段階に応じてどのようなサービスが利用できるのかを、その説明とともに表した認知症ケアパスを、窓口配置やホームページ掲載により普及を進めた。	B	認知症の方や、その家族の意見を反映した認知症ケアパスの見直しをしていくことが必要。	高齢者支援課

No.	計画記載ページ	基本目標	施策の推進方向	事業の展開	主な取組・事業	事業及び取組の実施状況（令和6年度）	評価	事業及び取組の課題（令和7年度）	主担当課
31	77 78	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(6) 認知症施策の総合的な推進	③ 認知症になっても地域で安心して暮らし続けられる体制の構築	●認知症サポーターの養成とその活動	認知症に関する正しい知識と理解を持って、地域や職場で認知症の方や家族を手助けする認知症サポーターの養成を進めるため、認知症サポーター養成講座を実施。 講座開催：4回 受講者数：118名	B	講座の開催回数を増やせるようにしていくための検討が必要。	高齢者支援課
32	77 78	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(6) 認知症施策の総合的な推進	③ 認知症になっても地域で安心して暮らし続けられる体制の構築	●認知症高齢者見守り事業	認知症サポーターがチームを組み、認知症の人や家族の困りごとをできる範囲で手助けするチームオレンジを1か所立ち上げた。	A	認知症サポーターの活動の場として、チームオレンジが組めるような体制作りが課題。養成講座の際に、チームオレンジについて周知する。	高齢者支援課
33	77 78	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(6) 認知症施策の総合的な推進	③ 認知症になっても地域で安心して暮らし続けられる体制の構築	●家族介護支援事業	・徘徊高齢者等位置探索システム（GPS）利用費助成事業 新規申請：1件 月額使用料助成 2件 ・認知症高齢者等見守りシール交付事業 交付決定：8件	A	徘徊行動のある高齢者等が所在不明になった場合の早期発見による安全確保、また介護を行う家族の精神的及び経済的負担の軽減を図るため、支援を必要とする方に情報が届くよう周知に取り組む。	高齢者支援課
34	77 78	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(6) 認知症施策の総合的な推進	③ 認知症になっても地域で安心して暮らし続けられる体制の構築	●認知症に関する相談窓口の周知	認知症ケアパスを、窓口配置やホームページ掲載により普及を進めた。	B	相談窓口について周知していく。	高齢者支援課
35	79	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(7) 在宅医療・介護連携の推進	① 地域医療・介護の資源の把握	●地域医療・介護の資源の把握	看取りやターミナルケアが可能な施設の情報と、令和6年度から開始した認知症高齢者等見守りシール交付事業について追加したほか、各種情報の追加や修正等の更新を行った。	B	医療情報ネット「ナビィ」や生活支援コーディネーターからの情報をもとに、資源リストの情報を更新する。更新頻度が少ないことが課題となっている。	高齢者支援課
36	80	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(7) 在宅医療・介護連携の推進	② 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の推進	●在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	君津市在宅医療・介護連携推進協議会で令和3年度～令和6年度の第2次短期目標の評価を実施し、第3次の目標について検討をした。	A	第3次目標である「ACPについて、医療・介護関係者が本人・家族に確認し、かなえることができる」に基づき事業を実施し、評価する。	高齢者支援課
37	80	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(7) 在宅医療・介護連携の推進	② 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の推進	●医療・介護関係者の情報共有の支援	7月26日に開催された「君津四市高齢者福祉施設連絡協議会」の総会にて、バイタルリンクの説明を行い、活用について周知した。 また、市内の入院設備がある医療機関にバイタルリンクを活用した空床情報の共有について依頼をし、共有するための部屋をネットワーク上に作成した。	A	委託している地域包括支援センターも管理者として、バイタルリンクの運用を開始する。効果的な活用について検討していく。	高齢者支援課
38	80	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(7) 在宅医療・介護連携の推進	② 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の推進	●在宅医療・介護連携に関する相談支援	各地域包括支援センターに相談窓口を設置し地域の医療や介護関係者から在宅医療に関する相談を受け、連携調整や情報提供等を行っている。 実件数：130件 延べ件数：426件 地域相談サポート医への相談 簡易相談・初期対応：2件 難事例：1件	A	研修会や窓口、ホームページ等で、医療・介護関係者が必要時相談できる場の周知を継続する。四市担当で事業活性化に向けた検討の必要がある。	高齢者支援課
39	80	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(7) 在宅医療・介護連携の推進	② 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の推進	●医療・介護関係者の研修	君津市在宅医療・介護連携推進多職種研修会を開催した。 開催日：令和6年11月13日（水） 参加者：44名 講師：法テラス千葉法律事務所弁護士 講演：在宅医療・介護現場における暴力・ハラスメント防止について	A	君津市在宅医療・介護連携推進多職種研修会を開催する。 開催日：令和7年11月11日（火） 講師：コンフォート君津クリニック 院長 中田真司氏 講演：ACP（人生会議）について	高齢者支援課
40	80	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(7) 在宅医療・介護連携の推進	② 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の推進	●在宅医療・介護連携に関する関係機関の連携	君津圏域在宅医療・介護連携推進事業（広域）四市担当者会議を月1回開催している。	A	君津圏域在宅医療・介護連携推進事業（広域）四市担当者会議を月1回開催する。	高齢者支援課
41	80	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(7) 在宅医療・介護連携の推進	③ 市民への普及啓発	●市民への普及啓発	市民向け医療講演会を開催した。 開催日：令和6年10月23日 参加者：73名 テーマ①：自筆証書遺言書保管制度について 講師：千葉地方務局木更津市局 総務課長 秋葉修氏 テーマ②：人生会議ってなあに？～気軽に人生会議をしてみよう～	A	市民向け医療講演会を開催する。 開催日：令和7年10月28日（火） 講師：コンフォート君津クリニック 院長 中田真司氏 講演：ACP（人生会議）について	高齢者支援課
42	81	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(8) 地域包括支援センターの機能強化	① 地域包括支援センターの運営方針	●地域包括支援センターの運営方針	次年度に向け、実施方針の見直しを実施した。 （総合相談支援について） ・地域包括ケアシステムの構築・深化に向けた役割について記載 （認知症施策、在宅医療・介護連携事業、生活支援体制整備事業の推進について） ・本文の一部変更。 ・在宅医療・介護連携推進協議会との連携について記載。 ・地域包括支援センターの業務負担の増大による課題と負担軽減について記載。	A	次年度に向け、実施方針の見直しを実施する。	高齢者支援課
43	82 83	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(8) 地域包括支援センターの機能強化	② 地域包括支援センターの各事業・業務の方針	●予防ケアマネジメント業務	予防ケアマネジメント実績 地域包括支援室 928件 中部地域包括支援センター 1,356件 小糸・清和地域包括支援センター 687件 東部地域包括支援センター 739件	A	要支援認定者に対して、その心身の状況、置かれている環境その他の状況に応じて、その選択に基づき、適切なサービスが包括的かつ効果的に提供されるよう介護予防ケアマネジメントを実施する。	高齢者支援課
44	82 83	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(8) 地域包括支援センターの機能強化	② 地域包括支援センターの各事業・業務の方針	●総合相談支援業務	総合相談実績 地域包括支援室 5,885件 中部地域包括支援センター 2,639件 小糸・清和地域包括支援センター 1,223件 東部地域包括支援センター 4,511件	A	保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員が、地域の高齢者の様々な相談に応じ、地域の関係者のネットワークを通じて、適切なサービス利用や機関・制度へつなぎ、継続的に支援する。	高齢者支援課
45	82 83	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(8) 地域包括支援センターの機能強化	② 地域包括支援センターの各事業・業務の方針	●権利擁護業務	権利擁護実績 地域包括支援室 20件 中部地域包括支援センター 105件 小糸・清和地域包括支援センター 30件 東部地域包括支援センター 26件	A	・成年後見制度・日常生活自立支援事業の利用 ・高齢者虐待への対応 ・老人福祉施設等への措置の支援 ・困難事例への対応 ・消費者被害の防止	高齢者支援課
46	82 83	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(8) 地域包括支援センターの機能強化	② 地域包括支援センターの各事業・業務の方針	●包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	包括的・継続的ケアマネジメント実績 地域包括支援室 21件 中部地域包括支援センター 16件 小糸・清和地域包括支援センター 40件 東部地域包括支援センター 6件	A	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護支援専門員、主治医、地域の関係機関等、地域において多職種相互の協働により連携し、個々の高齢者の状況に応じて、包括的かつ継続的に支援する。	高齢者支援課
47	82 83	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(8) 地域包括支援センターの機能強化	② 地域包括支援センターの各事業・業務の方針	●地域ケア会議の実施	地域ケア会議実績 地域包括支援室（自立支援型） 6回 中部地域包括支援センター 1回 小糸・清和地域包括支援センター 1回 東部地域包括支援センター 2回	A	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための体制を構築するため地域ケア会議を開催し、地域の関係機関、民生委員などの協力団体との連携を強化し、地域の情報や課題を把握するとともに、解決策を検討する。	高齢者支援課
48	82 83	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(8) 地域包括支援センターの機能強化	② 地域包括支援センターの各事業・業務の方針	●地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化	国で策定した全国統一の評価指標を通じ評価を実施した。	A	事業評価の実施。地域包括支援センターの取組みの確認や課題を把握して、不十分な点については改善に向けた取組を行う。	高齢者支援課

No.	計画記載ページ	基本目標	施策の推進方向	事業の展開	主な取組・事業	事業及び取組の実施状況（令和6年度）	評価	事業及び取組の課題（令和7年度）	担当課
49	83	安心して暮らせる地域共生社会の推進	(8) 地域包括支援センターの機能強化	③ 重層的な支援体制の構築	●重層的な支援体制の構築（再掲）	(再掲N○16) 定期的に重層的支援会議を開催し、関係課や関係機関の課題や福祉相談支援センターきみつでの相談ケースを共有し、複合化・複雑化した相談を適切な支援に結びつける体制を整備した。また、地域共生シンポジウムを開催し、市民に対し、市内の相談機関の周知を図った。	A	(再掲N○16) 重層的支援会議の開催、庁内外での連携した相談支援体制により、重層的な支援体制を整備することはできているが、今後は地域包括支援センターと関係機関の連携を継続し、アウトリーチ等の活用により、支援につながっていない人を、適切な支援につなげる体制の強化を図りたい。	厚生課
50	84	介護サービス提供体制の整備と人材確保	(1) 介護サービスの整備推進	① 安心して生活し続けるための介護サービスの整備と質の確保	●介護サービスの整備推進、質の確保	要介護認定の適正化、ケアプラン点検、縦覧点検等、介護給付費適正化の取り組みにより、介護サービスの整備と質の確保を図った。特に令和6年度は認定調査状況と利用サービスの整合性の確認を重点的に行い、過誤の判明に繋がった。	A	より効果的、効率的な実施手法について検討し、点検等の実施件数の拡大を図っていく。	介護保険課
51	84	介護サービス提供体制の整備と人材確保	(1) 介護サービスの整備推進	② 災害・感染症対策の推進	●介護保険施設等における災害・感染症対策の推進	市所管の介護施設（小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護等）と協力し、災害発生時に被災状況を把握するための災害時情報共有システムを用いた災害想定訓練を実施した。また、令和7年2月に実施した集団指導の中で、感染症の予防及びまん延の防止のための措置に関して説明を行った。	A	介護保険施設等における災害への対策は、利用者の生活に直結する重要な課題であり、今後も定期的に実施していく。	介護保険課
52	85	介護サービス提供体制の整備と人材確保	(2) 介護人材の確保及び資質向上	① 介護人材参入促進（研修等の助成）	●介護職員初任者研修費用助成事業	介護職員初任者研修を修了し、3カ月以上継続して市内の介護サービス事業所または介護施設に勤務している合計14名に対し、総額374,000円の助成を行った。	A	助成希望者の減少が見られるため、繰り返しの周知により申請の機会を逃さないよう工夫するほか、ニーズのあった介護人材の資質向上につながる喀痰吸引等研修費用の助成を開始した。	介護保険課
53	85	介護サービス提供体制の整備と人材確保	(2) 介護人材の確保及び資質向上	① 介護人材参入促進（研修等の助成）	●介護に関する入門的研修の実施	受講者数18名に対し、令和7年1月11日、18日、26日、2月2日の全4日間で入門的研修を実施した。令和6年度からの新しい試みとして、実際に介護施設で働く職員を研修に招き、受講生に仕事の内容等をお話していただいた。	A	令和8年1月10日、18日、25日、2月1日の全4日間で実施予定。幅広い世代への周知を目的に、広報誌への掲載及びSNS配信、チラシの配布等を実施。令和6年度に介護事業者の方から話をさせていただく内容が好評だったため、令和7年度も実施する予定。	介護保険課
54	85	介護サービス提供体制の整備と人材確保	(2) 介護人材の確保及び資質向上	② 介護人材定着支援	●介護事業所内保育施設運営事業	毎年度要望調査を実施しているが、令和6年度は事業所内保育施設に対する要望はなかったため、令和6年度は実施無し。	B	新たな人材定着支援として、令和7年度より喀痰吸引等研修費用の助成を開始。事業所内保育施設に限らず、引き続き介護人材定着に向けた取組を検討していく。	介護保険課
55	86	介護サービス提供体制の整備と人材確保	(3) 介護現場の生産性向上のための取組	① 介護ロボット・ICTの活用促進	●介護ロボット・ICTの活用促進	介護事業所に対し、民間事業者からのICTに係る提案の共有、介護ロボット・ICTの活用促進に係る国の補助事業等の周知などを行った。	A	千葉県と共催で、ケアプランデータ連携システム説明会を10月に実施。千葉県介護現場革新会議等を参考に、引き続き介護ロボット・ICTの活用促進に向けた取組を検討していく。	介護保険課
56	86	介護サービス提供体制の整備と人材確保	(3) 介護現場の生産性向上のための取組	② 働きやすい環境づくりの支援	●図書負担軽減	指定変更届等に関する提出書類について、国が規定する様式に統一し、届出済みの内容から変更がない場合は添付省略可としている。	A	電子申請・届出システムの活用促進のため、GビズIDの取得について君津市指定事業者に対し周知・勧奨を行い、令和8年度からのシステムによる届出の原則化を予定している。	介護保険課
57	86	介護サービス提供体制の整備と人材確保	(3) 介護現場の生産性向上のための取組	② 働きやすい環境づくりの支援	●介護現場におけるハラスメント防止対策	市が年1回、介護事業所に対して行う集団指導の中で、外部の講師を招き、介護職員の働きやすさにつながるメンタルヘルスに関する研修を実施した。また、介護事業所への運営指導において、職員の就業環境が害されることを防止するための方針の明確化等の必要な措置が行われているかを確認している。	A	集団指導の中で、カスタマーハラスメントに関する研修を行うなど、今後も、介護現場におけるハラスメント防止対策に関するサポートを継続的に実施していく。	介護保険課

第10期介護保険事業計画策定について

1 第10期介護保険事業計画策定について

市町村は、介護保険法（第117条第5項）において、日常生活圏域ごとにおける被保険者の心身の状況、その置かれている環境その他事情を正確に把握した上で、これらの事情を勘案した市町村介護保険事業計画を作成するよう努めることとされています。

本市では、令和6年3月に「君津市第9期介護保険事業計画」を策定しており、令和8年度をもって計画期間が終了となるため、令和9年度から令和11年度までを計画期間とする新たな「君津市第10期介護保険事業計画」を策定します。

2 計画策定スケジュール

令和7年度中に、介護保険事業計画策定支援業務委託業者の選定を行い、現行の第9期介護保険事業計画の評価・分析、住民ニーズ調査の実施と集計・分析による地域の特性・実情を把握し、第10期介護保険事業計画を作成するための基礎的な資料を得ることを目的としてアンケート調査を実施します。

令和8年度中にアンケート調査の内容を踏まえ、介護保険制度改正の動向や、国が現在見直しを進めており、計画作成上のガイドラインの役割を果たしている「介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本指針」などに沿って作成を進めるとともに、「介護保険運営協議会」で協議・検討を行います。あわせて、素案作成後にまちづくり意見公募手続（パブリックコメント）を実施し、広く意見を把握し反映に努めます。

第10期介護保険事業計画策定スケジュール（案）

	時期	内容
令和7年度	令和7年10月～11月	介護保険事業計画策定支援業務委託業者の選定
	令和7年12月	各種調査票（アンケート）作成
	令和7年12月	介護保険運営協議会（調査票内容報告）
	令和8年1月～2月	各種アンケート調査実施
	令和8年3月	調査結果の入力・集計・分析
令和8年度	令和8年5月頃	介護保険運営協議会（調査結果報告）
	令和8年4月～8月頃	現状分析・評価・課題分析
	令和8年8月頃～11月頃	計画骨子案・素案の作成
	令和8年12月～令和9年1月	パブリックコメントの実施
	令和9年3月頃	介護保険運営協議会（答申）
	令和9年3月	第10期介護保険事業計画策定

※当該スケジュールは、現時点で示されている国資料及び第9期計画の策定スケジュールを参考として作成したものであり、今後の状況により変更する可能性があります。

君津市第10期介護保険事業計画策定に係るアンケート調査について

1 アンケート調査の概要

第10期介護保険事業計画の策定に当たり、高齢者の生活状況及び支援ニーズなどを把握し、今後の施策の方向性を検討することを目的として、各種アンケート調査を実施します。

アンケート調査の調査項目の設定においては、各調査において、国から示される項目をベースに、市独自項目を加え実施する予定です。

2 各種アンケート調査の目的及び調査対象

(1) 高齢者を対象

調査種別	目的	調査対象	資料番号
在宅介護 実態調査 (約1,300件)	在宅生活を送る要介護認定者の在宅生活の継続及び家族等介護者の就労継続に有効な介護サービスの在り方の検討	在宅で生活している要介護・要支援認定を受けている方のうち、更新(区分変更)申請をした者とその家族	議題2 (1)
介護予防・ 日常生活圏域 ニーズ調査 (約3,000件)	要介護になる前の高齢者のリスクや社会状況を把握し、地域課題を特定	65歳以上で要介護1～5以外の者	議題2 (2)

(2) 介護事業所(施設)及び職員を対象

調査種別	目的	調査対象	資料番号
介護人材 実態調査 (約150件)	介護人材の性別・年齢別・資格保有状況・採用や離職の状況等の詳細な実態把握及び介護人材の確保・定着・育成に向けて必要な取組等の検討	介護サービス事業所・施設	議題2 (3) ①及び②
居所変更 実態調査 (約40件)	過去1年に施設・居住系サービスから居所を変更した方の人数等の把握及び施設・居住系サービスでの生活の継続性を高めるために必要な機能の検討	居住系サービス事業所・施設(住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホームを含む)	議題2 (4)
在宅生活 改善調査 (約40件)	在宅生活の維持が難しくなっている利用者の実態把握及び地域に不足する介護サービス等の検討	居宅介護支援事業所・小規模多機能型居宅介護事業所・看護小規模多機能型居宅介護事業所	議題2 (5) ①及び②

3 アンケート調査実施方法

(1) 調査期間 令和8年1月下旬から2月下旬まで(予定)

(2) 調査方法 高齢者を対象とする調査においては郵送形式、介護事業所(施設)及び職員を対象とする調査においては、メール形式で実施します。

参考 君津市第9期介護保険事業計画策定に向けた実態調査

・調査期間 令和5年2月から3月まで

・調査方法 郵送配布・郵送回収方式

調査種別	配布数	有効回答数	有効回答率
介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	3,500通	2,630通	67.4%
在宅介護実態調査	600通	419通	69.8%
在宅生活改善調査	32通	20通	62.5%
居所変更実態調査	32通	17通	53.1%
介護人材実態調査	112通	50通	44.6%

※第10期介護保険事業計画策定に係るアンケート調査については、国から示された手引き等に基づき実施する必要があるため、いただいた意見を反映できない場合もありますので、ご承知おきください。

君津市 在宅介護実態調査

◆調査ご協力のお願い

日頃、市政に御理解、御協力をいただき、誠にありがとうございます。

君津市では、高齢者の皆さまが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう「君津市第9期介護保険事業計画」を策定し、生活支援施策や介護保険の適切な運営を推進しています。

この計画が令和8年度に終了することに伴い、次期計画を策定するための基礎資料として、計画の対象となる方の日頃の生活の様子や健康状態、介護サービスの利用状況等について実情を把握するため、アンケート調査を実施させていただくことになりました。

本調査は、令和8年1月1日現在、在宅で要介護認定を受けている方を介護保険被保険者台帳から無作為に抽出したものです。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

令和8年1月

君津市長 石井 宏子

◆記入に際してのお願い

(1) この調査票に記入して郵送で提出される場合

1. この調査の対象者は、令和8年1月1日時点で、要支援1・2及び要介護1から要介護5の認定を受けている方のうち、在宅で生活されている方です。
2. ご回答にあたっては、「A票“ご本人”についてお答えいただく部分」と「B票“主な介護者の方”についてお答えいただく部分」がありますので、ご注意ください。
3. 質問によっては、「1つに○」「いくつでも」など、○をつける数が異なりますので、ご注意ください。
4. 御記入いただいた調査票は、3つ折りで同封の返信用封筒に入れ(切手不要)

令和8年〇月〇日(〇)までに、郵便ポストに投かんしてください。

(2) WEBで回答をされる場合

1. 右の二次元コードよりお進みください。➡ ➡ ➡ ➡ ➡ ➡ ➡ ➡ ➡ ➡
2. 調査票に印字されているインターネット回答用整理番号(数字6桁)を入力の上、画面の指示にしたがって回答ください。

※WEBでご回答いただいた方は、調査票を返送していただく必要はありません。

この調査に関するお問い合わせは以下までお願いします。

君津市 福祉部介護保険課 介護推進係

TEL : 0439-56-1736

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、市町村による介護保険事業計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、市町村内で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

A 票

調査対象者様ご本人について、お伺いします

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（いくつでも）

- | | |
|---------------------|--------------------------------|
| 1. 調査対象者本人 | 4. 調査対象者のケアマネジャー |
| 2. 主な介護者となっている家族・親族 | 5. その他（ ） |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | |

問2 世帯類型について、ご回答ください（1つに○）

- | | | |
|---------|-----------|--------------------------------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他（ ） |
|---------|-----------|--------------------------------|

独自 問3 居住地域について、ご回答ください（1つに○）

- | | |
|---------|---------|
| 1. 君津地区 | 4. 小櫃地区 |
| 2. 小糸地区 | 5. 上総地区 |
| 3. 清和地区 | |

問4 現時点での、介護施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つに○）

- | |
|----------------------|
| 1. 入所・入居は検討していない |
| 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている |

※この設問での「介護施設等」とは、特別養護老人ホームや有料老人ホーム等の、入所や入居して介護のサービスを受けられる施設を指します。

オープ

問5 ご本人（調査対象者）が、現在抱えているけがや病気について、ご回答ください（いくつでも）

- | | |
|---|---|
| 1. <small>のうけっかんしっかん のうそっちゆう</small>
脳血管疾患（脳卒中） | 9. <small>にんちしやう</small>
認知症 |
| 2. <small>しんしっかん しんぞうびやう</small>
心疾患（心臓病） | 10. パーキンソン病 |
| 3. <small>あくせいしんせいぶつ</small>
がん（悪性新生物） | 11. <small>なんびやう</small>
難病（パーキンソン病を除く） |
| 4. <small>こきゆうきしっかん</small>
呼吸器疾患 | 12. <small>とうによびやう</small>
糖尿病 |
| 5. <small>じんしっかん どうせき</small>
腎疾患（透析） | 13. <small>がんか じび かしっかん</small>
眼科・耳鼻科疾患 |
| 6. <small>きんこつかくけいしっかん こつ そ しやう</small>
筋骨格系疾患（骨粗しょう症、
<small>せきちゆうかんきやうさくしやう</small>
脊柱管狭窄症等） | <small>しかく ちやうかくしやうがい</small>
（視覚・聴覚障害を伴うもの） |
| 7. <small>こうげんびやう かんせつ</small>
膠原病（関節リウマチ含む） | 14. その他 |
| 8. <small>へんけいせいかんせつしっかん</small>
変形性関節疾患 | 15. なし |
| | 16. わからない |

問6 令和7年12月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか（1つに○）

- | | |
|---------|------------|
| 1. 利用した | 2. 利用していない |
|---------|------------|

【問6で「1.利用した」を選んだ方のみ】

独自

問7 今のケアプランについて、ご本人（調査対象者）はどの程度満足していますか（1つに○）

- | |
|---------------|
| 1. 満足している |
| 2. ほぼ満足している |
| 3. あまり満足していない |
| 4. 満足していない |
| 5. わからない |

【問6で「2.利用していない」を選んだ方のみ】

問8 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（いくつでも）

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の意思がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他（ ）

問9 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（いくつでも）

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 配食 | 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） |
| 2. 調理 | 8. 見守り、声かけ |
| 3. 掃除・洗濯 | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 4. 買い物（宅配は含まない） | 10. その他（ ） |
| 5. ゴミ出し | 11. 利用していない |
| 6. 外出同行（通院、買い物など） | |

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問10 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（いくつでも）

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 配食 | 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） |
| 2. 調理 | 8. 見守り、声かけ |
| 3. 掃除・洗濯 | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 4. 買い物（宅配は含まない） | 10. その他（ ） |
| 5. ゴミ出し | 11. 特になし |
| 6. 外出同行（通院、買い物など） | |

オプ

問 11 ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療（訪問歯科診療や居宅療養管理指導を除く）を利用していますか（1つに○）

1. 利用している

2. 利用していない

※訪問診療とは、健康保険を利用し、医師が在宅に訪問の上、診察や治療等のサービス提供を受けるものです。

※居宅療養管理指導とは、介護保険を利用し、健康管理上のアドバイスや指導を受けるものです（医療行為は含まれません）。

独自

問 12 ご本人（調査対象者）は、認知機能の低下がみられますか。または、医師から認知症と診断されていますか（1つに○）

1. 診断されている

2. 診断されていないが、そのような症状がみられる

3. 認知機能は低下していない

4. わからない

独自

【問 12 で「1. 診断されている」、「2. 診断されていないが、そのような症状がみられる」を選んだ方のみ】

問 13 認知機能の低下に気がついたのは、どのようなときですか（1つに○）

1. しょくく同じ話をする

7. 夜間に活動するようになった

2. 食べたことを忘れる

8. 日時がわからなくなった

3. 目的なく動き回る

9. 薬の飲み忘れ

4. 物が盗られたと訴える

10. 病院に行くのを嫌がる

5. 身だしなみを気にしなくなった

11. その他（ ）

6. 場所の理解ができなくなった

12. ない

独自

【問 12 で「1. 診断されている」、「2. 診断されていないが、そのような症状がみられる」を選んだ方のみ】

問 14 認知機能の低下により、困っていることはありますか（いくつでも）

1. しょくく同じ話をする

7. 夜間に活動するようになった

2. 食べたことを忘れる

8. 日時がわからなくなった

3. 目的なく動き回る

9. 薬の飲み忘れ

4. 物が盗られたと訴える

10. 病院に行くのを嫌がる

5. 身だしなみを気にしなくなった

11. その他（ ）

6. 場所の理解ができなくなった

12. ない

独自

【問 12 で「3. 認知機能は低下していない」、「4. わからない」を選んだ方のみ】
問 15 ご本人（調査対象者）やご家族が認知症になったら不安に感じることは何がありますか（いくつでも）

1. 家族や周囲の人への負担をかけること
2. 日常生活(買い物等の家事や運転、仕事)が困難になること
3. 自分の性格や行動が変化してしまうこと
4. 自分を介護してくれる人がいるかどうか
5. 自分や大切な思い出を忘れてしまうこと
6. 相談先や受診先が分からないこと
7. 治療やサービス利用による経済的負担
8. その他()

独自

問 16 ご本人（調査対象者）は認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。イメージに最も近いものをお答えください（1つに○）

1. 自ら工夫して地域で今までどおり生活できる
2. 周りのサポートを受けながら地域で生活できる
3. 医療介護等のサポートを利用して地域で生活できる
4. 介護施設でサポートを利用することが必要になる
5. 迷惑をかけてしまい地域での生活が難しくなる
6. 症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう
7. その他()

独自

問 17 認知症について意識したり、調べたりしたことはありますか（1つに○）

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

独自

問 18 認知症についてどのようなことを知りたいですか（いくつでも）

- | | |
|--------------------|-----------------------------|
| 1. 認知症の人に対する接し方 | 5. 認知症に関する相談窓口 |
| 2. 認知症の症状 | 6. 認知症の人が入所できる施設（グループホーム）など |
| 3. 認知症の人に対する介護の方法 | 7. その他() |
| 4. 認知症の人が利用できるサービス | 8. 特に知りたいことはない・わからない |

独自

問 19 認知症の人やその家族に対して、どのような支援を望みますか(いくつでも)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 介護サービスの拡充 | 6. 認知症サポーターの養成 |
| 2. 介護家族に対する支援の拡充 | 7. 認知症の人が通える場の整備 |
| 3. 認知症の早期発見の仕組みづくり | 8. 入所できる施設の拡充 |
| 4. 気軽に相談できる窓口の周知 | 9. その他() |
| 5. 認知症理解の普及啓発の促進 | 10. 特に望む支援はない・わからない |

独自

問 20 ご本人(調査対象者)は孤独であると感じることがありますか
(1つに○)

- | | | | |
|-------|-----------|---------|---------|
| 1. ない | 2. ほとんどない | 3. 時々ある | 4. 常にある |
|-------|-----------|---------|---------|

独自 【問 20 で「3.時々ある」、「4.常にある」を選んだ方のみ】

問 21 孤独であると感じる原因は何ですか(いくつでも)

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. ひとり暮らし | 8. 親しい人の死別 |
| 2. 転居 | 9. 心身の不調 |
| 3. 転職・離職 | 10. 家族・人間関係のトラブル |
| 4. 失業・求職 | 11. 金銭的な困難 |
| 5. 家族の病気・障がい | 12. 災害・犯罪被害 |
| 6. 家族の介護 | 13. その他() |
| 7. 家族との離別・死別 | 14. 特にない |

独自

問 22 ご本人(調査対象者)が将来、最期を迎える場所について、家族等と話し合ったことがありますか(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

- A票の問25で「2～5」を選んだ場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いします。
- 「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人（調査対象者）にご回答・ご記入をお願いします（ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です）。

B票 主な介護者の方について、お伺いします

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（いくつでも）

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

【オブ】 問2 主な介護者の方は、どなたですか（1つに○）

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1. 配偶者 | 3. 子の配偶者 | 5. 兄弟・姉妹 |
| 2. 子 | 4. 孫 | 6. その他 |

【オブ】 問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つに○）

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 回答しない |
|-------|-------|----------|

問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つに○）

- | | |
|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 6. 60代 |
| 2. 20代 | 7. 70代 |
| 3. 30代 | 8. 80歳以上 |
| 4. 40代 | 9. わからない |
| 5. 50代 | |

【問4で「1.20歳未満」を選んだ方のみ】

独自

問5 現在、主な介護者の方の在学状況について、ご回答ください（1つに○）
（「1.在学中」「2.休学中」の方は（ ）内のいずれかに○）

1. 在学中（大学・専門学校・高校・中学）
2. 休学中（大学・専門学校・高校・中学）
3. 在学していない

【問5で「2.休学中」「3.在学していない」を選んだ方のみ】

独自

問6 休学や在学していない理由について、ご回答ください（1つに○）

1. 家族等の介護のため
2. 経済的な理由のため
3. 介護者自身の理由によるもの
4. その他（ ）

オブ

問7 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください
（いくつでも）

【身体介護】

1. 日中の排泄
2. 夜間の排泄
3. 食事の介助（食べる時）
4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）
6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動
8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬
10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応
（経管栄養、ストーマ等）

【生活援助】

12. 食事の準備（調理等）
 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）
 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
- 【その他】
15. その他（ ）
 16. わからない

【問9で「1.フルタイムで働いている」、「2.パートタイムで働いている」を選んだ方のみ】

オープ

問 11 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで）

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他
10. 特にない
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

【問9で「1.フルタイムで働いている」、「2.パートタイムで働いている」を選んだ方のみ】

問 12 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つに○）

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 2. 問題はあるが、何とか続けていける | 5. 主な介護者に確認しないと、わからない |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | |

問 13 主な介護者の方として、高齢者福祉・介護保険等に関するご意見がありましたら、ご自由にお書きください

■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■

君津市 高齢者日常生活ニーズ調査

◆調査ご協力のお願い

日頃、市政に御理解、御協力をいただき、誠にありがとうございます。

君津市では、高齢者の皆さまが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう「君津市第9期介護保険事業計画」を策定し、生活支援施策や介護保険の適切な運営を推進しています。

この計画が令和8年度に終了することに伴い、次期計画を策定するための基礎資料として、計画の対象となる方の日頃の生活の様子や健康状態、介護サービスの利用状況等について実情を把握するため、アンケート調査を実施させていただくことになりました。

本調査は、令和8年1月1日現在、市内にお住まいの65歳以上の方を無作為に抽出し、御協力をお願いしております。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和8年1月

君津市長 石井 宏子

◆記入に際してのお願い

(1)この調査票に記入して郵送で提出される場合

1. 答えは、あなた(あて名の御本人)のお考えに最も近いと思われる回答の番号に○を付けてください。質問によっては、「1つに○」「いくつでも」など、○をつける数が異なりますので、ご注意ください。
2. 御記入いただいた調査票は、3つ折りで同封の返信用封筒に入れ(切手不要)

令和8年〇月〇日(〇)までに、郵便ポストに投かんしてください。

(2)WEBで回答をされる場合

1. 右の二次元コードよりお進みください。➡ ➡ ➡ ➡ ➡ ➡ ➡ ➡ ➡ ➡
2. 調査票に印字されているインターネット回答用整理番号(数字6桁)を入力の上、画面の指示にしたがって回答ください。

※WEBでご回答いただいた方は、調査票を返送していただく必要はありません。

この調査に関するお問い合わせは以下までお願いします。

君津市 福祉部介護保険課 介護推進係

TEL : 0439-56-1736

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、市町村による介護保険事業計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、市町村内で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

調査対象者様（あて名の方）ご本人のことについて

記入日

令和8年 月 日

調査票を記入されたのはどなたですか（1つに○）

1. あて名のご本人が記入
2. ご家族が記入
3. その他（ ）

問1 あなたのご家族や生活状況について

（1）家族構成をお教えてください（1つに○）

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）
3. 夫婦2人暮らし（配偶者 64 歳以下）
4. 息子・娘との2世帯
5. その他

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（1つに○）

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

独自

【(2)で「1. 介護・介助は必要ない」以外を選んだ方のみ】

① 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）

- | | |
|---|--|
| 1. 脳卒中 <small>のうそっちゅう</small> (脳出血 <small>のうしゅっけつ</small> ・脳梗塞 <small>のうこうそく</small> 等) | 9. 腎疾患 <small>じんしっかん</small> (透析 <small>とうせき</small>) |
| 2. 心臓病 <small>しんぞうびょう</small> | 10. 視覚・聴覚障害 <small>しかく ちょうかくしやうがい</small> |
| 3. がん <small>あくせいしんせいぶつ</small> (悪性新生物) | 11. 骨折・転倒 <small>こっせつ てんどう</small> |
| 4. 呼吸器の病気 <small>はいきしゆ はいえん</small> (肺気腫・肺炎等) | 12. 脊椎損傷 <small>せきついそんしやう</small> |
| 5. 関節の病気 (リウマチ等) | 13. 加齢による身体機能の低下 |
| 6. 認知症 <small>にんちしやう</small> (アルツハイマー病等) | (衰弱等) <small>すいじゃく</small> |
| 7. パーキンソン病 | 14. その他 () |
| 8. 糖尿病 <small>とうにやうびやう</small> | 15. 不明 |

オープ

【(2)で「3. 現在、何らかの介護を受けている」を選んだ方のみ】

② 主にどなたの介護、介助を受けていますか（いくつでも）

- | | | |
|--------------|----------|----------------|
| 1. 配偶者 (夫・妻) | 4. 子の配偶者 | 7. 介護サービスのヘルパー |
| 2. 息子 | 5. 孫 | 8. その他 () |
| 3. 娘 | 6. 兄弟・姉妹 | |

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（1つに○）

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 大変苦しい | 4. ややゆとりがある |
| 2. やや苦しい | 5. 大変ゆとりがある |
| 3. ふつう | |

オープ

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか（1つに○）

- | | |
|--|---|
| 1. 持家 (一戸建て) | 4. 民間賃貸住宅 <small>みんかんちんたいじゅうたく</small> (一戸建て) |
| 2. 持家 (集合住宅) | 5. 民間賃貸住宅 <small>みんかんちんたいじゅうたく</small> (集合住宅) |
| 3. 公営賃貸住宅 <small>こうえいちんたいじゅうたく</small> | 6. その他 () |

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(3) 15分位続けて歩いていますか (1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (1つに○)

1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか (1つに○)

1. とても不安である
2. やや不安である
3. あまり不安でない
4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか (1つに○)

1. ほとんど外出しない
2. 週1回
3. 週2~4回
4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (1つに○)

1. とても減っている
2. 減っている
3. あまり減っていない
4. 減っていない

オブ

(8) 外出を控えていますか (1つに○)

1. はい

2. いいえ

オブ

【(8)で「1.はい」を選んだ方のみ】

①外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも)

1. 病気

6. 目の障がい

2. 障がい (脳卒中^{のうそっちゅう}の後遺症^{こういししょう}など)

7. 外での楽しみがない

3. 足腰などの痛み

8. 経済的に出られない

4. トイレの心配 (失禁など)

9. 交通手段がない

5. 耳の障がい (聞こえの問題など)

10. その他 ()

オブ

(9) 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)

1. 徒歩

8. 病院や施設のバス

2. 自転車

9. 車いす

3. バイク

10. 電動車いす (カート)

4. 自動車 (自分で運転)

11. 歩行器・シルバーカー

5. 自動車 (人に乗せてもらう)

12. タクシー

6. 電車

13. その他 ()

7. 路線バス

問3 食べることについて

(1) 身長・体重を記載してください

身長 cm 体重 kg

オブ (2) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(3) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

オブ (4) お茶や汁物等でむせることがありますか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

オブ (5) 口の渇きが気になりますか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

オブ (6) 歯磨きや入れ歯のお手入れ(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(7) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください(1つに○)
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

- 1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
- 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
- 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
- 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

オブ 噛み合わせは良いですか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか (1つに○)

1. 毎日ある
2. 週に何度かある
3. 月に何度かある
4. 年に何度かある
5. ほとんどない

問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか (1つに○)

1. はい
2. いいえ

オブ (2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (1つに○)

1. はい
2. いいえ

オブ (3) 今日が何月何日かわからない時がありますか (1つに○)

1. はい
2. いいえ

(4) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (1つに○)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (1つに○)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

(6) 自分で食事の用意をしていますか (1つに○)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

(7) 自分で請求書の支払いをしていますか (1つに○)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

オブ (9) 年金などの書類 (役所や病院などに出す書類) が書けますか (1つに○)

1. はい 2. いいえ

オブ (10) 本や新聞を読んでいますか (1つに○)

1. はい 2. いいえ

オブ (11) 友人の家を訪ねていますか (1つに○)

1. はい 2. いいえ

オブ (12) 家族や友人の相談にのっていますか (1つに○)

1. はい 2. いいえ

オブ (13) 趣味や生きがいがありますか

(「1.ある」の方は () 内に趣味や生きがいを記入) (1つに○)

1. ある \longrightarrow ()
2. ない
3. 思いつかない

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※①～⑧それぞれに回答してください

項目	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
選択肢						
記入例→	1	2	3	④	5	6
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤介護予防のための通いの場 (自治会館等で実施する健康体操)	1	2	3	4	5	6
⑥老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (1つに○)

1. 是非参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない
4. 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか (1つに○)

1. 是非参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない
4. 既に参加している

問6 たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴^{ぐち}を聞いてくれる人を教えてください (いくつでも)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 配偶者 | 5. 近隣 |
| 2. 同居の子ども | 6. 友人 |
| 3. 別居の子ども | 7. その他() |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 8. そのような人はいない |

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴^{ぐち}を聞いてあげる人を教えてください (いくつでも)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 配偶者 | 5. 近隣 |
| 2. 同居の子ども | 6. 友人 |
| 3. 別居の子ども | 7. その他() |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 8. そのような人はいない |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人を教えてください (いくつでも)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 配偶者 | 5. 近隣 |
| 2. 同居の子ども | 6. 友人 |
| 3. 別居の子ども | 7. その他() |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 8. そのような人はいない |

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人を教えてください (いくつでも)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 配偶者 | 5. 近隣 |
| 2. 同居の子ども | 6. 友人 |
| 3. 別居の子ども | 7. その他() |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 8. そのような人はいない |

独自

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(いくつでも)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ | 5. 地域包括支援センター・市役所 |
| 2. 社会福祉協議会・民生委員 | 6. 特別養護老人ホーム等の介護施設 |
| 3. ケアマネジャー | 7. その他() |
| 4. 医師・歯科医師・看護師 | 8. そのような人はいない |

オプ

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (1つに○)

- | |
|------------|
| 1. 毎日ある |
| 2. 週に何度かある |
| 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある |
| 5. ほとんどない |

オプ

(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか (1つに○)
(同じ人には何度会っても1人と数えることとします)

- | |
|------------|
| 1. 0人(いない) |
| 2. 1~2人 |
| 3. 3~5人 |
| 4. 6~9人 |
| 5. 10人以上 |

オプ

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (いくつでも)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 近所・同じ地域の人 | 5. 趣味や関心が同じ友人 |
| 2. 幼なじみ | 6. ボランティア等の活動での友人 |
| 3. 学生時代の友人 | 7. その他() |
| 4. 仕事での同僚・元同僚 | 8. いない |

問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (1つに○)

- | | |
|----------|------------|
| 1. とてもよい | 3. あまりよくない |
| 2. まあよい | 4. よくない |

独自

(2) 軽い運動・体操もしくは定期的な運動・スポーツを週1回以上していますか (1つに○)

- | | |
|------------|----------|
| 1. ほとんどしない | 3. 週2~4回 |
| 2. 週1回 | 4. 週5回以上 |

独自

(3) あなたは以下のどの介護予防や健康づくりの活動に参加したいですか (いくつでも)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 自治会館等で実施する健康体操、公民館などでの講座 |
| 2. 体操(運動)の教室(WEB(インターネット)) |
| 3. 身近な地域の公園でのラジオ体操 |
| 4. 会食や茶話会等、食事をしながら、話し合う場 |
| 5. 認知症予防の教室(市役所での講座) |
| 6. 認知症予防の教室(WEB(インターネット)) |
| 7. 趣味の活動への参加(料理教室、手芸、健康マージャン等) |
| 8. 農作業や農作物の収穫体験 |
| 9. 支援が必要な高齢者への生活支援(買い物支援、移動支援等) |
| 10. 子どもや若年世代等との世代を越えた交流 |
| 11. その他() |

(4) あなたは、現在どの程度幸せですか(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください) (1つに○)

とても不幸 ←—————→ とても幸せ										
0点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10点

(5) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(6) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

オブ

(7) お酒は飲みますか(1つに○)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. ほぼ毎日飲む | 3. ほとんど飲まない |
| 2. 時々飲む | 4. もともと飲まない |

(8) タバコは吸っていますか(1つに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 3. 吸っていたがやめた |
| 2. 時々吸っている | 4. もともと吸っていない |

(9) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(いくつでも)

- | | |
|--|--|
| 1. ない | 11. 外傷(転倒・骨折等)
<small>がいしやう てんとう こっせつ</small> |
| 2. 高血圧
<small>こうけつあつ</small> | 12. がん(悪性新生物)
<small>あくせいしんせいぶつ</small> |
| 3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
<small>のうそっちゆう のうしゅっけつ・のうこうそく</small> | 13. 血液・免疫の病気
<small>めんえき</small> |
| 4. 心臓病
<small>しんぞうびやう</small> | 14. うつ病 |
| 5. 糖尿病
<small>とうりやうびやう</small> | 15. 認知症(アルツハイマー病等)
<small>にんちしやう</small> |
| 6. 高脂血症(脂質異常)
<small>こうしけつしやう ししついいじやう</small> | 16. パーキンソン病 |
| 7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)
<small>はいえん きかんしえん</small> | 17. 目の病気 |
| 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 | 18. 耳の病気 |
| 9. 腎臓・前立腺の病気
<small>じんぞう ぜんりつせん</small> | 19. その他() |
| 10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)
<small>きんこっかく こつそ しやう かんせつしやう</small> | |

問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問9 認知症予防や生活支援について

独自

(1) 日常的に受けたいと思う支援はありますか (いくつでも)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 安否確認の声かけ | 7. 急病になった時の看病 |
| 2. 心配ごとなどの相談相手 | 8. 介護を必要とする人の短時間の預かり |
| 3. 買い物の手伝い | 9. 認知症などの高齢者の見守り |
| 4. 家事の手伝い | 10. 災害時の手助け |
| 5. 外出の手伝い | 11. その他() |
| 6. ゴミ出しの手伝い | 12. 特にない |

独自

(2) あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。あなたが思うイメージに最も近いものをお答えください (1つに○)

- | |
|----------------------------|
| 1. 自ら工夫して地域で今までどおり生活できる |
| 2. 周りのサポートを受けながら地域で生活できる |
| 3. 医療介護等のサポートを利用して地域で生活できる |
| 4. 介護施設でサポートを利用することが必要になる |
| 5. 迷惑をかけてしまい地域での生活が難しくなる |
| 6. 症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう |
| 7. その他() |

独自

(3) 認知症になっても、すべてのことができなくなるのではなく、その人らしく地域で暮らし続けられるという考え方を「新しい認知症観」といいます。この言葉や考え方について、どの程度ご存じですか (1つに○)

- | |
|------------------------|
| 1. 内容を含めて知っている |
| 2. 言葉は聞いたことがあるが内容は知らない |
| 3. 知らない |

独自

(4) もし、あなたが認知症であると診断された場合には、どのように暮らしたいと思いますか (1つに○)

- | |
|----------------------------|
| 1. 自ら工夫して地域で今までどおり生活したい |
| 2. 周りのサポートを受けながら地域で生活したい |
| 3. 医療介護等のサポートを利用して地域で生活したい |
| 4. 身の回りのことができないので施設で暮らしたい |
| 5. 周りに迷惑をかけるので施設で暮らしたい |
| 6. 誰にも迷惑をかけないようひとりで暮らしたい |
| 7. その他() |

独自 (5) 今後、認知症になったときに不安に思うことはどれですか (いくつでも)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 一人での生活・安全が心配 | 4. 介護や医療の費用 |
| 2. 金銭管理や手続きができなくなる | 5. 差別や偏見を受けること |
| 3. 家族に迷惑をかけること | 6. その他() |

独自 (6) あなたやご家族などが認知症になったら、あなたはどこに (誰に) 相談すると思いますか (いくつでも)

- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1. 誰にも相談しない | 8. 認知症カフェ |
| 2. 診療所 (かかりつけ医) | 9. 家族や親族 |
| 3. 認知症疾患医療センター | 10. 友人・知人 |
| 4. もの忘れ外来等 | 11. 認知症関連の当事者団体
(認知症の人と家族の会等) |
| 5. ケアマネジャー | 12. その他() |
| 6. 介護施設等のスタッフ | |
| 7. 市役所の窓口
(地域包括支援センター) | |

独自 (7) あなたは孤独であると感じることがありますか (1つに○)

- | | | | |
|-------|-----------|---------|---------|
| 1. ない | 2. ほとんどない | 3. 時々ある | 4. 常にある |
|-------|-----------|---------|---------|

独自 (8) あなたが将来、最期を迎える場所について、家族と話し合ったことがありますか (○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

独自 (9) 終活の準備や亡くなった後の事務について、支援を受けたいと思うことは何ですか (いくつでも)

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1. 生前の見守り・身元保証 | 6. 終活や死後事務の相談・事業者紹介 |
| 2. エンディングノート・遺言書作成 | 7. その他() |
| 3. 葬儀・納骨の手続き | 8. わからない |
| 4. 家財整理・住まいの手続き
(解約・撤去等) | 9. 特に希望しない |
| 5. 各種手続きの代行
(届出・公共料金等) | |

■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■

介護人材実態調査 【事業所票】 全事業所用

※令和8年1月1日現在の状況について、の中に、ご回答ください。

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。 (1つに○)

※本調査票の送付先（メール又は郵送先の宛名となっている事業所）で行うサービスについて、ご回答ください。

- 1. 施設・居住系サービス（特別養護老人ホーム（地域密着型含む）、介護老人保健施設、介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム）
- 2. 通所系サービス（通所介護（地域密着型含む）、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護、通所型サービス（総合事業））
- 3. 訪問系サービス（訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス（総合事業））
- 4. 小規模多機能型居宅介護
- 5. 看護小規模多機能型居宅介護
- 6. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

問2 貴事業所（問1で○をつけたサービス種別の事業所）に所属する介護職員について、お伺いします。

※ここでの「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。（ボランティアの方は含みません。）

問2-1 職員の人数と内訳についてお答えください。 (数値を記入)

従業員の人数							人	
性別	常勤職員	非常勤職員	合計	うち派遣社員	うち外国人職員			
男性	<input type="text"/>	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	<input type="text"/>			
女性	<input type="text"/>	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	<input type="text"/>			

従業員の年齢内訳								人	
20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上			
<input type="text"/>									

合計人数が一致すること

問2-2 資格毎の人数についてお答えください。 (数値を記入)

資格ごとの人数										
	介護福祉士	介護職員実務者研修修了者	介護職員初任者研修修了者	社会福祉士(社会福祉士等)	介護支援専門員	保健師	看護師	准看護師	無資格の介護職員	その他
常勤	<input type="text"/>									
非常勤	<input type="text"/>									

問2-3 貴事業所は開設から1年以上経過していますか。

(1つに○)

- 1. はい ⇒問2-4へ
- 2. いいえ ⇒問3へ

問2-4 令和8年1月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。

過去1年間（令和7年1月1日～令和7年12月31日）の介護職員の採用者数と離職者数を、常勤・非常勤別にご記入ください。

外国人人材も含めてご回答ください。(数値を記入)

	採用者数	離職者数
常勤職員	<input type="text"/>	<input type="text"/>
非常勤職員	<input type="text"/>	<input type="text"/>
合計	<input type="text"/>	<input type="text"/>

問3 外国人人材の雇用についてお答えください。

(1つに○)

<input type="checkbox"/>	1. すでに雇用している	<input type="checkbox"/>	4. 雇用する予定はない
<input type="checkbox"/>	2. 雇用する予定がある	<input type="checkbox"/>	5. わからない
<input type="checkbox"/>	3. 雇用を検討している		

問4 現在の事業所の経営状況について、最も近いものをお選びください。

(1つに○)

<input type="checkbox"/>	1. 安定している	<input type="checkbox"/>	4. やや厳しい
<input type="checkbox"/>	2. おおむね安定している	<input type="checkbox"/>	5. かなり厳しい
<input type="checkbox"/>	3. どちらともいえない		

問5 貴事業所の職員の過不足についてお答えください。

(それぞれ1つに○)

(職種ごとに「1」～「6」に○を1つ付けてください)

※資格保有者ではなく、その仕事(職種)に就く方でお考えください。

	1	2	3	4	5	6
	過剰である	充足している	やや不足	し大てきいく不足	わからない	い当該い職種は
①訪問介護員	<input type="checkbox"/>					
②サービス提供責任者	<input type="checkbox"/>					
③介護職員(直接介護を行う人)	<input type="checkbox"/>					
④看護職員	<input type="checkbox"/>					
⑤生活相談員	<input type="checkbox"/>					
⑥PT・OT・ST等	<input type="checkbox"/>					
⑦ケアマネジャー(計画作成担当者)	<input type="checkbox"/>					
⑧介護助手(介護職員を補助する人)	<input type="checkbox"/>					

問6 貴事業所の介護職員採用において重視している点についてお答えください。

(1つに○)

<input type="checkbox"/>	1. 介護福祉士等の有資格者	<input type="checkbox"/>	3. 面接時における人物評価
<input type="checkbox"/>	2. 介護事業所における実務経験	<input type="checkbox"/>	4. 特にこだわりはない(充足を優先)

問7 この1年間における職員の定着について、おおむねどのような状況ですか。 (1つに○)

	1. 定着し安定している
	2. たまに離職者がいるが、ほぼ安定している
	3. 離職者が多く、不安定である
	4. その他 ()

問8 採用時にどのような方法を活用していますか。(あてはまる項目全てに○)

	1. 教育機関への働きかけ
	2. ハローワーク
	3. 求人媒体・広告(折込チラシ、webサイト等)
	4. 事業者(法人)のホームページ
	5. 人材派遣(雇用主は派遣会社)
	6. 人材紹介(雇用主は就労先)
	7. 職員や知人からの紹介
	8. 採用説明会や職場体験の実施
	9. その他 ()

問9 過去1年間に採用した職員の人数や質をどのように評価していますか。(1つに○)

	1. 人数・質ともに確保できている
	2. 人数は確保できているが、質には満足していない
	3. 質には満足だが、人数は確保できていない
	4. 人数・質ともに確保できていない
	5. 過去1年間、従業員は採用していない

問10 職員が不足し、充足しない場合はどのように対応していますか。(あてはまる項目全てに○)

	1. サービス利用者を減らしている
	2. 法人内の他の事業所から配置転換している
	3. 人材派遣会社に職員派遣を依頼している
	4. 人材紹介で職員を雇用している
	5. 各職員の勤務時間やシフトを調整している
	6. 特に対応していない(対応の必要がない)
	7. 定年を延長している
	8. その他 ()

問11 職員の離職防止や定着促進のために、どのような取組をしていますか。 (あてはまる項目全てに○)

	1. 労働環境（有給休暇のとりやすさ等）や労働条件（勤務体制等）の改善
	2. 賃金水準の向上や各種手当の支給
	3. 新人の指導担当・アドバイザーの設置
	4. 悩み、不安などの相談窓口を設置
	5. スキルアップのための研修等の実施
	6. 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている
	7. 介護ロボットやICTの導入等により負担を軽減している
	8. 特になし
	9. その他 ()

問12 現在、市が提供している認知症施策や支援について、どの程度満足していますか。

(1) 徘徊高齢者等位置探索システム（GPS）利用費助成事業 (1つに○)

	1. 非常に満足している		4. あまり満足していない
	2. ある程度満足している		5. 全く満足していない
	3. どちらともいえない		

(2) 認知症高齢者等見守りシール (1つに○)

	1. 非常に満足している		4. あまり満足していない
	2. ある程度満足している		5. 全く満足していない
	3. どちらともいえない		

(3) 認知症サポーター養成講座 (1つに○)

	1. 非常に満足している		4. あまり満足していない
	2. ある程度満足している		5. 全く満足していない
	3. どちらともいえない		

(4) 認知症簡易チェックサイト (1つに○)

	1. 非常に満足している		4. あまり満足していない
	2. ある程度満足している		5. 全く満足していない
	3. どちらともいえない		

問13 認知症高齢者の支援を充実させるため、市に求める支援があればお答えください。 (あてはまる項目全てに○)

	1. 困難ケースへの個別支援		5. 家族支援（家族会等）の強化
	2. 専門職による訪問・助言		6. 地域見守り体制の強化
	3. 研修の充実		7. その他 ()
	4. 医療との連携支援		

問14 貴事業所では、認知症を有する利用者に対して、どのように対応していますか。 (あてはまる項目全てに○)

	1. 専門スタッフを配置している
	2. 専門の関係機関と常に連携をとり、対応が可能な体制を取っている
	3. 人材の募集・確保を図っている
	4. 特段の対応は取っていない
	5. その他（サービス調整等）

問15 介護や支援の現場（施設・職場）において、認知症を有する利用者を支える上で感じている課題・困りごとにはどのようなものがありますか。

（あてはまる項目全てに○）

	1. 介護や支援による精神的なストレス・負担が大きい
	2. 介護や支援に時間を取られ、十分な休憩時間が確保できない
	3. 認知症の人から目が離せず、他の利用者の対応や他の業務ができない
	4. 周囲（家族や地域）の理解や協力が得られにくい
	5. 利用できる公的サービスや相談先の情報が分からない
	6. 認知症の症状への対応方法が分からず困っている
	7. 人手や専門知識のあるスタッフが不足している
	8. その他（ ）

問16 認知症高齢者を支える上で、現在、地域の関係者間（介護・医療・行政・ボランティアなど）での連携や情報共有はどの程度できていると思いま

（1つに○）

	1. 十分に連携・情報共有できている		4. 全くできていない
	2. ある程度できている		5. 分からない・該当しない
	3. あまりできていない		

問17 採用や人材定着に関する課題やご意見をご回答ください。（自由記述）

貴事業所についてご記入ください。

事業所名	
ご担当者氏名	
電話番号	
Eメールアドレス	

調査は以上となります。ご協力ありがとうございました。

介護人材実態調査 職員票 (訪問系)

※この調査票は、訪問サービス・訪問介護を行う介護職員の方(非常勤含む。ボランティア除く)が対象です。

※●●年●月●日現在の状況について、の中に、ご回答ください。

問1 あなたが、本調査票を受け取った事業所で提供するサービス種別(介護予防を含む)について、ご回答ください。(1つ選択)

- 1. 訪問系サービス(訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス(総合事業))
- 2. 小規模多機能型居宅介護
- 3. 看護小規模多機能型居宅介護
- 4. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

問2 貴事業所名をご記入ください。

事業所名	<input style="width: 100%;" type="text"/>
------	---

問3 あなたの資格の取得、研修の修了の状況について、ご回答ください。(1つ選択)

- 1. 介護福祉士(認定介護福祉士を含む)
- 2. 介護福祉士実務者研修修了、または(旧)介護職員基礎研修修了、または(旧)ヘルパー1級
- 3. 介護職員初任者研修修了、または(旧)ヘルパー2級
- 4. 「1.」～「3.」のいずれにも該当しない

問4 あなたの雇用形態、性別、年齢、過去1週間の勤務時間等について、ご回答ください。

1) 雇用形態(1つに○)	<input type="checkbox"/> 1. 常勤職員	<input type="checkbox"/> 2. 非常勤職員	
2) 性別(1つに○)	<input type="checkbox"/> 1. 男性	<input type="checkbox"/> 2. 女性	
3) 年齢(1つに○)	<input type="checkbox"/> 1. 20歳未満	<input type="checkbox"/> 2. 20代	<input type="checkbox"/> 3. 30代
	<input type="checkbox"/> 4. 40代	<input type="checkbox"/> 5. 50代	<input type="checkbox"/> 6. 60代
	<input type="checkbox"/> 7. 70代以上		
4) 過去1週間の勤務時間(数値を記入) ※問1で回答した勤務先における時間	週 <input style="width: 50px;" type="text"/> 時間	★ ※残業時間を含む。 休憩時間は除く。	
5) 現在の事業所での勤務年数(1つに○)	<input type="checkbox"/> 1. 1年以上 ⇒裏面に回答		
	<input type="checkbox"/> 2. 1年未満 ⇒問4と裏面に回答		

問5 【問4の5)で「2.」と回答された方】現在の事業所に勤務する直前の職場について、以下にご回答ください。

- 1. 現在の職場が初めての勤務先⇒【裏面に回答】
 - 2. 介護以外の職場⇒【裏面に回答】
 - 3. 特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設
 - 4. 訪問介護・入浴、夜間対応型
 - 5. 小多機、看多機、定期巡回サービス
 - 6. 通所介護、通所リハ、認知症デイ
 - 7. 住宅型有料、サ高住(特定施設以外)
 - 8. その他の介護サービス
- ⇒【「3.」～「8.」の場合は問5へ】

問6 【問5で「3.」～「8.」と回答された方】ご回答いただいた直前の職場について、以下にご回答ください。

1) 場所(1つに○)	<input type="checkbox"/> 1. 現在の事業所と、同一の市区町村内
	<input type="checkbox"/> 2. 現在の事業所と、別の市区町村内
2) 法人(1つに○)	<input type="checkbox"/> 1. 現在の事業所と、同一の法人・グループ
	<input type="checkbox"/> 2. 現在の事業所と、別の法人・グループ

⇒皆様、裏面も
ご回答ください

職員票（訪問介護員向け）裏面

この調査は、「訪問介護員」を対象とした調査です。「訪問介護」、「訪問入浴」、「夜間対応型訪問介護」、「訪問型サービス（総合事業）」、「定期巡回サービス」、「小規模多機能型居宅介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」に従事されている方にお聞きします。

※表面の間3「4）過去1週間の勤務時間」（★欄）で回答した7日間の勤務時間について、身体介護・生活援助を提供した時間（分）を記入してください。

（例. 水曜日を開始日とする場合、水曜日（開始日）から次週の火曜日までの7日間の情報を記入してください）

※移動時間、待機時間は含みません。「買い物」は、店舗での買い物に要する標準的な時間及び利用者の居宅における訪問介護に要する標準的な時間の合算となります（移動時間を含まない）。

※「掃除」には、ゴミ出しも含まれます。

※障害サービスの提供は除いてください。

※介護給付による提供、介護予防給付・総合事業による提供は分けて記入してください。

※記入する時間は「5分単位」とします。（例）32分→30分と記入。

■介護給付による訪問について右詰めで記入

曜日	身体介護		生活援助							
			買い物		調理・配膳		掃除		その他の生活援助	
記入例	60	分	20	分	20	分	20	分	20	分
月		分		分		分		分		分
火		分		分		分		分		分
水		分		分		分		分		分
木		分		分		分		分		分
金		分		分		分		分		分
土		分		分		分		分		分
日		分		分		分		分		分
週の合計		分		分		分		分		分

■介護予防給付・総合事業による訪問について右詰めで記入

曜日	身体介護		生活援助							
			買い物		調理・配膳		掃除		その他の生活援助	
記入例	30	分	0	分	0	分	20	分	20	分
月		分		分		分		分		分
火		分		分		分		分		分
水		分		分		分		分		分
木		分		分		分		分		分
金		分		分		分		分		分
土		分		分		分		分		分
日		分		分		分		分		分
週の合計		分		分		分		分		分

※自立生活支援・重度化防止のための見守りの援助（自立支援、ADL・IADL・QOL向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等）は、身体介護に含む

週の合計時間

時間

居所変更実態調査

※令和8年1月1日現在の状況について、の中に、ご回答ください。

問1 該当するサービス種別をご回答ください。 (1つに○)

<input type="text"/>	1. 住宅型有料老人ホーム	<input type="text"/>	6. 地域密着型特定施設
<input type="text"/>	2. 軽費老人ホーム（特定施設除く）	<input type="text"/>	7. 介護老人保健施設
<input type="text"/>	3. サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	<input type="text"/>	8. 介護医療院
<input type="text"/>	4. グループホーム	<input type="text"/>	9. 特別養護老人ホーム
<input type="text"/>	5. 特定施設	<input type="text"/>	10. 地域密着型特別養護老人ホーム

※本調査では、上記のサービス種別をまとめて「施設等」と表記します。

問2 貴施設等の概要について、以下にご記入ください。

1) 施設等の名称	<input type="text"/>	
2) 定員数など	<input type="text"/>	(人/戸/室)
3) 入所・入居者数	<input type="text"/>	人
4) (貴施設等の) 待機者数	<input type="text"/>	人
5) 特別養護老人ホームの待機者数(申込者数)	<input type="text"/>	人

※「2)定員数など」は、サービス付き高齢者向け住宅の場合は「住宅戸数」、住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームの場合は「居室数」、その他の施設等の場合は「定員数」をご回答ください。

※4)と5)は、該当者がいない場合は「0」を、不明の場合は「-」を記載してください。

※5)は、特養・地域密着型特養は回答不要です。

問3 現在の入所・入居者の要支援・要介護度別の人数について、ご記入ください。(数値を記入)

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明	合計
<input type="text"/>									

問4 貴施設等で、以下の医療処置が必要な利用者の受け入れは可能ですか。(あてはまる項目全てに○)

※1人でも受け入れが可能であれば、○とご記入ください。

1) 点滴の管理	<input type="text"/>	8) 疼痛の看護	<input type="text"/>
2) 中心静脈栄養	<input type="text"/>	9) 経管栄養	<input type="text"/>
3) 透析	<input type="text"/>	10) モニター測定	<input type="text"/>
4) ストーマの処置	<input type="text"/>	11) 褥瘡の処置	<input type="text"/>
5) 酸素療法	<input type="text"/>	12) カテーテル	<input type="text"/>
6) レスピレーター	<input type="text"/>	13) 喀痰吸引	<input type="text"/>
7) 気管切開の処置	<input type="text"/>	14) インスリン注射	<input type="text"/>
		15) 上記に対応可能な医療処置はない	<input type="text"/>

問5 現在、上記の医療処置を受けている入所・入居者の合計人数をご回答ください。(数値を記入)

問4の医療処置を受けている入所・入居者の合計(実人数) 人

ここからは、**過去1年間の新規の入所・入居者**についてお伺いします。

問6 過去1年間（令和7年1月1日～令和7年12月31日）に、貴施設等に新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。（数値を記入）

※ 貴施設等に入所・入居している方で、一時的な入院等で貴施設等に戻った方は含めないでください。

新規の入所・入居者数（合計★） 人

問7 問6の過去1年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。（数値を記入）

※ 「合計★」と、問6「新規の入所・入居者数（合計★）」が一致することをご確認ください。

※ 一時的な入院の後に貴施設等に入所・入居した場合は入院前の居場所をご記入ください。入院前の居場所がわからない場合は、「12)病院・診療所」を選択してください。

※ 「1) 自宅」に、ショートステイの長期利用者の入所・入居も含まれます。

	市内	市外
1) 自宅（※ 兄弟・子ども・親戚等の家含む）		
2) 住宅型有料老人ホーム		
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）		
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）		
5) グループホーム		
6) 特定施設		
7) 地域密着型特定施設		
8) 介護老人保健施設		
9) 介護医療院		
10) 特別養護老人ホーム		
11) 地域密着型特別養護老人ホーム		
12) 病院・診療所（一時的な入院を除く）		
13) その他		
14) 入居・入所する前の居場所を把握していない		
合計★		

合計人数が一致することをご確認ください。

ここからは、**過去1年間の退去者**についてお伺いします。

問8 過去1年間（令和7年1月1日～令和7年12月31日）に、貴施設等を退去した人の人数をご記入ください。

※ 一時的な入院等から貴施設等に戻った方、現在一時的に入院中の方（貴施設等との契約が継続している方）は含め
ないでください。

※ 「死亡」には、「貴施設等で亡くなられた方」に加え、「病院等への搬送後に死亡された方」も含まれます。

退去者数（合計）※死亡を含む 人 ☆

問9 問8の過去1年間の退去者について、要介護度別の人数をご記入ください。（数値を記入）

※死亡した人については、「①退去者」欄ではなく、「②貴施設等での死亡」欄にその人数をご記入ください。

※病院等への搬送後に死亡した場合、搬送先で死亡したケースは「②貴施設等での死亡」、
搬送先からの転院等の後に死亡した場合は「①退去者」に含めてください。

※「合計☆」と、問8の「退去者数（合計）」が一致することをご確認ください。

①退去者									②貴施設等 での死亡 ※搬送先での 死亡を含む	合計☆ ※①②の 合計
自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・ 不明		
<input type="text"/>	<input type="text"/>									

問10 問8でご記入いただいた過去1年間の退去者について、退去先別の人数をご記入ください。

※ 一時的に入院して貴施設等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご記入ください。

※搬送先からの転院等の後に死亡した場合は、死亡ではなく「居所変更」として、該当する行先にカウントして
ください。

※「合計☆」と、問8の「退去者数（合計）」、問9の「合計☆」が一致することをご確認ください。

	市内	市外
1) 自宅（※兄弟・子ども・親戚等の家含む）	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2) 住宅型有料老人ホーム	<input type="text"/>	<input type="text"/>
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）	<input type="text"/>	<input type="text"/>
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	<input type="text"/>	<input type="text"/>
5) グループホーム	<input type="text"/>	<input type="text"/>
6) 特定施設	<input type="text"/>	<input type="text"/>
7) 地域密着型特定施設	<input type="text"/>	<input type="text"/>
8) 介護老人保健施設	<input type="text"/>	<input type="text"/>
9) 介護医療院	<input type="text"/>	<input type="text"/>
10) 病院・診療所（上記「9」を除く） ※一時的な入院は含みません。	<input type="text"/>	<input type="text"/>
11) 特別養護老人ホーム	<input type="text"/>	<input type="text"/>
12) 地域密着型特別養護老人ホーム	<input type="text"/>	<input type="text"/>
13) その他	<input type="text"/>	<input type="text"/>
14) 行先を把握していない	<input type="text"/>	<input type="text"/>
15) 死亡（※搬送先での死亡を含む）	<input type="text"/>	<input type="text"/>
合計☆	<input type="text"/>	<input type="text"/>

合計人数が一致することをご確認ください。

問11 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として最も多いものを3つまで選択してください。(3つまで○)

※死亡した方は除く、退去者についてお答えください。

	3つまで○
1) 必要な生活支援が発生・増大したから	
2) 必要な身体介護が発生・増大したから	
3) 認知症の症状が悪化したから	
4) 医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから	
5) 「1」～「4」以外の状態像が悪化したから	
6) 入所・入居者の状態等が改善したから	
7) 入所・入居者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから	
8) 費用負担が重くなったから	
9) 本人が希望したから	
10) その他	

問12 貴施設等で入居・入所者が退去するのはどのような場合が多いですか。よくあるケースについてお答えください。(自由回答)

貴施設等についてご記入ください。

事業所名	
ご担当者氏名	
電話番号	
Eメールアドレス	

調査は以上となります。ご協力ありがとうございました。

在宅生活改善調査 【事業所票】

※令和8年1月1日現在の状況について、の中にご回答ください。

問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。(数値を記入)

(1) 所属するケアマネジャーの人数		人
(2) (1)のうち主任ケアマネジャーの人数		人
(3) 「自宅等((4)を除く)」にお住まいの利用者数		人
(4) 「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数		人

ここからは、貴事業所において、過去1年の間(令和7年1月1日～令和7年12月31日)に「自宅等(サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く)から、居場所を変更した利用者」と「自宅等で死亡した利用者」についてお尋ねします。

問2 貴事業所において、過去1年の間に「自宅等(サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く)から、居場所を変更した要介護度別の利用者数」と「自宅等で死亡した利用者数」をご記入ください。

※入院後に自宅等に戻った方、現在一時的に入院中の方は含めないでください。
 ※病院等への搬送後に死亡した場合、搬送先で死亡したケースは「②自宅等での死亡」、
 搬送先から転院等の後に死亡したケースは「①自宅等から、居場所を変更した利用者」に含めてください。

①自宅等から、居場所を変更した利用者								②自宅等での死亡	合計★
要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明		

問3 貴事業所において、過去1年間の間に「自宅等(サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く)から、居場所を変更した利用者数」を行先別にご記入ください。(数値を記入)

※入院した後に自宅等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご記入ください。
 ※搬送後、搬送先から転院等の後に死亡した場合は、死亡ではなく「居所変更」として、該当する行先にカウントしてください。
 ※問3の合計(★)と、問2の合計(★)が一致することをご確認ください。

行先	市内	市外
1) 兄弟・子ども・親戚等の家		
2) 住宅型有料老人ホーム		
3) 軽費老人ホーム(特定施設除く)		
4) サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)		
5) グループホーム		
6) 特定施設		
7) 地域密着型特定施設		
8) 介護老人保健施設		
9) 介護医療院		
10) 特別養護老人ホーム		
11) 地域密着型特別養護老人ホーム		
12) 病院・診療所 ※一時的な入院を除く		
13) その他		
14) 行先を把握していない		
15) 自宅等での死亡 ※搬送先での死亡を含む		
合計★		

合計人数が一致することを「ご確認ください」

※問4から問8は小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護事業所の回答不要(介護人材実態調査と重複するため)

問4 現在、市が提供している認知症施策や支援について、どの程度満足していますか。

(1) 徘徊高齢者等位置探索システム(GPS)利用費助成事業 (1つに○)

	1. 非常に満足している		4. あまり満足していない
	2. ある程度満足している		5. 全く満足していない
	3. どちらともいえない		

(2) 認知症高齢者等見守りシール

(1つに○)

	1. 非常に満足している		4. あまり満足していない
	2. ある程度満足している		5. 全く満足していない
	3. どちらともいえない		

(3) 認知症サポーター養成講座

(1つに○)

	1. 非常に満足している		4. あまり満足していない
	2. ある程度満足している		5. 全く満足していない
	3. どちらともいえない		

(4) 認知症簡易チェックサイト

(1つに○)

	1. 非常に満足している		4. あまり満足していない
	2. ある程度満足している		5. 全く満足していない
	3. どちらともいえない		

問5 認知症高齢者の支援を充実させるため、市に求める支援があればお答えください。(あてはまる項目全てに○)

	1. 困難ケースへの個別支援		5. 家族支援(家族会等)の強化
	2. 専門職による訪問・助言		6. 地域見守り体制の強化
	3. 研修の充実		7. その他 ()
	4. 医療との連携支援		

問6 貴事業所では、認知症を有する利用者に対して、どのように対応していますか。(あてはまる項目全てに○)

	1. 専門の関係機関等(介護・医療・行政・ボランティアなど)と常に連携をとり、対応が可能な体制を取っている
	2. 人材の募集・確保を図っている
	3. 特段の対応は取っていない
	4. その他 ()

問7 認知症を有する利用者を支える上で感じている課題・困りごとにはどのようなものがありますか。

(あてはまる項目全てに○)

	1. 介護や支援による精神的なストレス・負担が大きい
	2. 介護や支援に時間を取られ、十分な休憩時間が確保できない
	3. 周囲(家族や地域)の理解や協力が得られにくい
	4. 利用できる公的サービスや相談先の情報が分からない
	5. 認知症の症状への対応方法が分からず困っている
	6. 人手や専門知識のあるスタッフが不足している
	7. その他 ()

問8 認知症の人を支える上で、現在、地域の関係者間(介護・医療・行政・ボランティアなど)

での連携や情報共有はどの程度取れていると感じますか。

(1つに○)

	1. 十分に連携・情報共有できている		4. 全くできていない
	2. ある程度できている		5. 分からない・該当しない
	3. あまりできていない		

問9 貴事業所の利用者で在宅生活の維持が難しくなるのは、どのような場合が多いですか。
よくあるケースについてお答えください。（自由回答）

--

貴事業所についてご記入ください。

事業所名	
ご担当者氏名	
電話番号	
Eメールアドレス	

調査は以上となります。ご協力ありがとうございました。

議題2 (5)②

在宅生活改善調査 利用者票

「自宅」、「サ高住」、「住宅型有料」、「軽費老人ホーム」にお住まいの方のうち「現在のサービス利用
 例えは「頻回な身体介護が必要となったため、現在の訪問介護の利用では対応が困難であり、」

の中に、令和8年1月1日現在の状況について回答してください。

問1. 対象となる利用者の状況等		
問1-1	問1-2	問1-3
世帯類型	現在の居所	要支援・要介護度
1. 独居 2. 夫婦のみ 3. 単身の子供との同居 4. その他の同居	1. 自宅等（持ち家） 2. 自宅等（借家） 3. 住宅型有料 4. サ高住 5. 軽費老人ホーム	1. 要支援 1 2. 要支援 2 3. 要介護 1 4. 要介護 2 5. 要介護 3 6. 要介護 4 7. 要介護 5 8. 新規申請中
(1～4のうち、1つ選択)	(1～5のうち、1つ選択)	(1～8のうち、1つ選択)
1人目		
2人目		
3人目		
4人目		
5人目		
6人目		
7人目		
8人目		
9人目		
10人目		
11人目		
12人目		
13人目		
14人目		
15人目		

議題3

介護予防支援業務を委託する事業所について

趣 旨

介護保険法第115条の23第3項の規定により、介護予防支援業務の一部を指定居宅介護支援事業所に委託するものです。

委託予定の指定居宅介護支援事業所

番号	受 託 者	事 業 所 名	所 在 地	介護支援 専門員数
1	セントケア千葉株式会社	セントケア富津	富津市西大和田 916	5